



RQ-G8 RG-G10 取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明のとおり正しくお使いください。
 - ・ この取扱説明書は大切に保管ください。
 - ・ 本機は、日本国内専用モデルのため、海外で使用することはできません。
 - ・ 万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- > 電話でのお問い合わせ
0120-099-355(フリーダイヤル)
上記番号がご利用いただけないときは、03-4330-3766(通話料はお客様負担となります)
受付：9:00～18:00(土・日・祝日・当社休日を除く)
- > メールでのお問い合わせ
rqshop.support@naviquest.co.jp
※土・日・祝日・当社休日にいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。
- > 製品サイト
<https://roadquest.naviquest.co.jp>



目次

はじめに	6	ナビモード	28
内容物の確認	6	ナビモードメニュー	28
安全上のご注意	7	システム設定	29
取り付けや配線をするとき	8	システム情報	30
ご使用になるとき	10	Wi-Fi 設定	31
使用上のご注意	12	Bluetooth 設定	32
液晶ディスプレイ	12	新しい機器とペアリングする	32
本体のお手入れ	12	保存済みの機器に接続する	33
免責事項	13	タブレットモード	34
各部の名称とはたらき	14	ホーム画面	34
RQ-G8	14	よく使う機能について	35
RQ-G10	16	アプリ一覧を表示する	35
取り付け位置について	18	Android のシステム設定を確認・変更 する	35
前方視界について	18	Google アカウントを設定する	36
直前直左視界について	19	Google Play ストアからアプリをイン ストールする	37
取り付け位置の注意点について	19	ナビアプリ	38
スタンドを取り付ける	20	現在地の測位について	38
シガーソケットに接続する	22	現在地を測位するまでの時間について	38
常時電源に接続する	23	現在地が測位できない環境について	38
ロッドアンテナを取り付ける	24	現在地の誤差について	39
マイクロ SD カードを取り付ける／取り 外す	24	ナビアプリを起動する	40
USB メモリを取り付ける／取り外す	24	ナビモードで起動する	40
電源を ON / OFF する	25	タブレットモードで起動する	40
ナビモードとタブレットモードについて	25	ナビアプリの基本操作について	41
タッチパネルの操作について	26	ナビアプリの音量を調整する	41
		現在地に戻る	41
		一つ前の画面に戻る	41
		リストをスクロールする	42
		文字入力について	43

地図画面	44	リルートについて	77
現在地地図	44	道路切り替えについて	77
スクロール地図	46	トンネルアシストについて	77
地図の操作について	47	ナビ設定	78
地図表示記号について	50	ナビ設定メニュー	78
ナビアプリと AV 機能を分割表示する	52	ナビシステム設定	79
ナビメニュー	53	地図表示設定	79
地点を検索する	54	施設アイコン表示設定	80
目的地／出発地／経由地検索メニュー	54	ルート探索設定	81
検索地点周辺地図	55	ルート案内設定	82
目的地履歴から検索する	56	安全運転ガイド設定	82
検索履歴から検索する	56	開通前道路情報	83
自宅を検索地点にする	56	登録情報	84
登録地点から検索する	57	自宅	84
周辺施設から検索する	58	登録地点	85
施設名から検索する	59	登録ルート	87
住所から検索する	60	目的地履歴を削除する	88
電話番号から検索する	61	検索履歴を削除する	88
駅名から検索する	62	走行軌跡を削除する	88
施設のジャンルから検索する	63	その他の機能	89
地図から検索する	65	GPS 情報	89
緯度と経度から検索する	65	ナビシステム情報	89
ルート探索	66	ナビデータを初期化する	89
目的地を探してルート探索する	66	VICS(オプション)	90
ルート編集してルート探索する	67	VICS について	90
経由地を設定する	68	VICS 情報を表示する	90
ルート全景	70	シリアル番号を登録する	91
ルート情報を表示する	71	シリアル番号を確認・更新する	91
デモ走行する	71	VICS 情報の表示内容について	92
ルート計算方法について	72	VICS 情報を考慮してルート探索する	93
ルート探索時の注意点について	72	VICS 設定	93
ルート案内	73		
一般道路案内画面	73		
交差点拡大図	74		
ハイウェイガイド	75		
イラストガイド	76		

テレビアプリ	94	その他.....	111
地上デジタル放送について	94	商標について	111
miniB-CAS カードについて	95	保証について	111
miniB-CAS カードを取り付ける／取り外す	96	主な仕様	112
テレビアプリを起動する	96	RQ-G8	112
テレビ画面	97	RQ-G10.....	113
テレビ画面 (2 画面分割表示)	98		
テレビアプリ設定	99		
動画プレーヤーアプリ	100		
動画プレーヤーアプリを起動する	100		
動画プレーヤーアプリの音量を調整する	100		
動画リスト	101		
動画プレーヤー	102		
音楽プレーヤーアプリ	103		
音楽プレーヤーアプリを起動する	103		
音楽プレーヤーアプリの音量を調整する	103		
楽曲リスト	104		
音楽プレーヤー	105		
オプション機能.....	106		
AV 入力	106		
AV 機器との接続について	106		
AV 機器の映像を表示する	107		
バックカメラ.....	108		
純正バックカメラ (RQ-OP1007) との接続について.....	108		
汎用バックカメラとの接続について	108		
バックカメラの種別を設定する	109		
バックガイド線を調整する	109		
リアビュー映像を表示する	110		

はじめに

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

	品名	数量
	ナビゲーション本体	1
	吸盤スタンド	1
	吸盤スタンドロングアーム	1
	吸盤スタンドベース板	1
	シガーソケットコード (コネクタタイプ)	1
	常時電源ケーブル	1
	ケーブルクランプ	4
	ロッドアンテナ (本体装着済み)	2
	miniB-CAS カード	1
	取扱説明書/保証書 (本書)	1

安全上のご注意

ご使用になる前に、以下の注意事項と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。

お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を説明しています。

以下の図記号の表示と意味をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

- ・ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容」です。

- ・ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 禁止	「してはいけない内容」です。
 実施	「実施しなければならない内容」です。

取り付けや配線をするとき



 実施	説明書に従って正しく配線・取り付けを行う。正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。
 実施	取り付けは安全な場所に駐車して行う。走行中の取り付けは大変危険です。
 実施	プラスアースの車と接続しない。本機は、DC12V～24Vのマイナスアース専用です。これ以外の接続は故障、火災の原因となります。
 実施	車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。
 実施	コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。
 実施	車のアクセサリースocketに金属片など異物がないことを確認してから、電源プラグを差し込む。ショートして、故障、火災の原因となります。
 実施	取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する。車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。
 実施	使用しないコードの先端などは、絶縁する。被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。
 禁止	本機を運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置して使用しない。 運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などが破損したりしてケガをするおそれがあります。
 禁止	同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
 禁止	取り付けのときは、車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

 禁止	<p>キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。あやまって、飲み込むおそがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
 禁止	<p>分解や改造はしない。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>

注意

 禁止	<p>高温になる場所などに取り付けない。直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない。雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。</p>
 禁止	<p>振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。</p>

ご使用になるとき



 実施	実際の交通規制に従って走行する。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。ナビゲーション画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なることがあります。
 実施	走行する前に、本体、吸盤スタンドがしっかりと固定してあることを確認する。事故の原因になったり、負傷の原因となります。
 実施	万一、出火、発煙、異臭、高温などの異常な状態になったときは、ただちに車を安全な場所に停め、使用を中止して必要な措置をとる。
 実施	異物や水を本体に入れないように注意する。故障、火災の原因となります。
 実施	必ず規定容量のヒューズを使用する。また、交換は専門技術者に依頼する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 禁止	ナビゲーション機能を自動車以外には使用しない。
 禁止	運転中は本機の操作、注視をしない。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
 禁止	故障や異常のまま使用しない。画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると、発火などの原因となります。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 禁止	本機を救急施設などへの誘導用に使用しない。本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なることがあります。必ず各施設に連絡をして、場所などの確認を行ってください。
 禁止	大きな音量で使用しない。車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。
 禁止	運転者は、走行中にヘッドホンを使用しない。外部の音が聞こえにくくなり、交通事故を招くおそれがあります。

 禁止	コードは傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。
 禁止	雷が鳴り出したら本体やコードに触れない。感電の原因となります。
 禁止	濡れた手で取り付け、操作しない。故障や感電して負傷するおそれがあります。

注意

 実施	長期間使用しないときは、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管する。
 実施	林道などの未舗装路や岩場など条件の悪い場所での走行するとき、吸盤スタンドおよび本体の破損や脱落を防ぐため、一時的に吸盤スタンドより本体を取り外す。
 実施	液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作する。
 禁止	強い衝撃を与えない。落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。
 禁止	吸盤スタンドに、必要以上の力を入れない。破損、ケガのおそれがあります。
 禁止	本機を車のエンジンが停止した状態で長時間使用しない。車のバッテリーが上がるおそれがあります。
 禁止	液晶ディスプレイは、先端が硬いもの（ボールペン、ピンなど）を使って操作しない。また、指でたたいたり、強く押さえない。傷、破損、誤動作のおそれがあります。

使用上のご注意

ご使用になる前に必ず取扱説明書や注意事項などをよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。

液晶ディスプレイ

- 液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作してください。
- 液晶ディスプレイは、先端が硬いもの（ボールペン、ピンなど）を使って操作しないでください。また、指でたたいたり、強く押さえないでください。傷、破損、誤動作の原因になります。
- 液晶ディスプレイに強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が長時間当たると高温になり、故障の原因になります。
- 極端に高温または低温になると、表示が遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶ディスプレイの特性によるもので故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶ディスプレイに小さな点が出るることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの特性により、見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

本体のお手入れ

- 本体が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
- 硬い布やぬれた雑巾は使用しないでください。
- アルコール、有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、酸、アルカリ類は使用しないでください。
- 硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

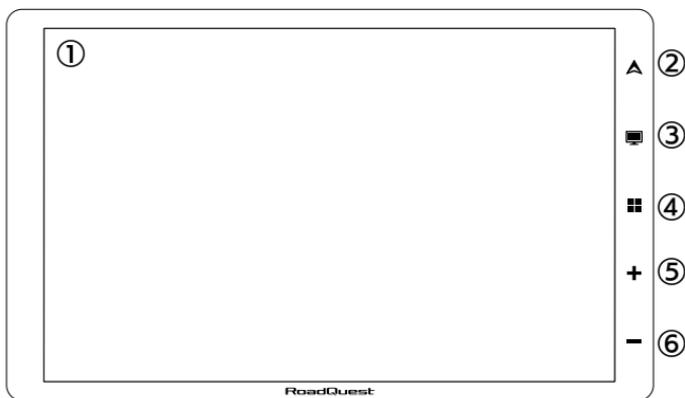
免責事項

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、自動車での使用を前提に作られています。本来の使い方から逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じたときは、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けたことにより本機が正常に動作しなくなったときの補償はできません。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失したときの補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用したときの保証はできません。
- 本機を業務目的に使用したときの保証はできません。
- 他人に譲渡または処分などされるときは、プライバシー保護のため本機に登録または記録した個人情報、お客様の責任において管理や消去を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。

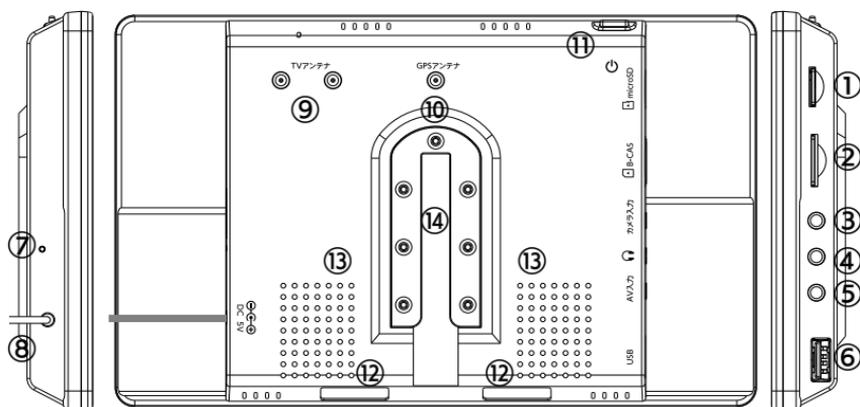
各部の名称とはたらき

RQ-G8

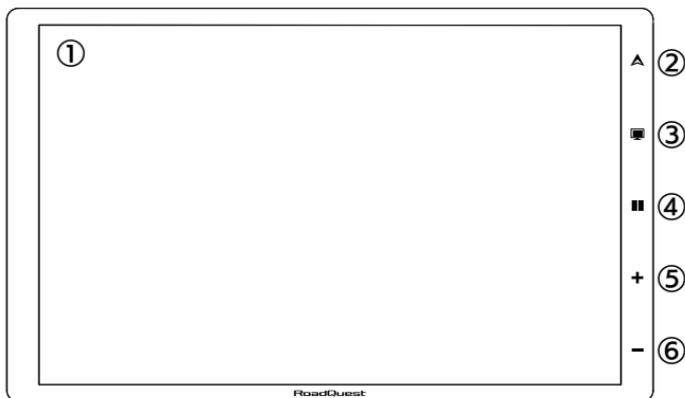
前面



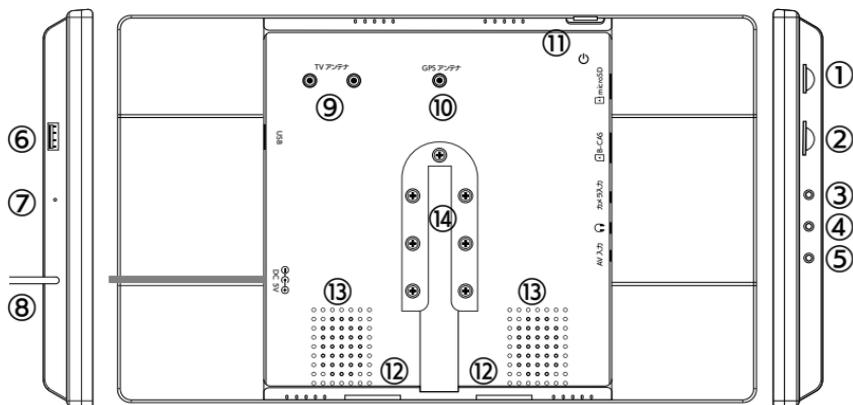
- ① 液晶ディスプレイ
- ② ナビ
ナビアプリを起動します。(→ P38)
- ③ テレビ
テレビアプリを起動します。(→ P94)
- ④ モード切り替え
ナビモードとタブレットモードを切り替えます。(→ P25)
- ⑤ ボリュームアップ
メインボリュームを大きくします。
- ⑥ ボリュームダウン
メインボリュームを小さくします。



- ① マイクロ SD カード挿入口
マイクロ SD カードを挿入します。
(→ P24)
- ② miniB-CAS カード挿入口
付属の「miniB-CAS カード」を挿入します。(→ P96)
- ③ カメラ入力端子
オプションの「カメラケーブル」を接続します。(→ P108)
- ④ AUX 出力端子
外部スピーカーに接続します。
- ⑤ AV 入力端子
オプションの「AV ケーブル」を接続します。(→ P106)
- ⑥ USB 端子
USB メモリーを挿入します。(→ P24)
- ⑦ 電源ランプ
- ⑧ 電源入力ケーブル
付属の「シガーソケットコード」
(→ P22)、または「常時電源ケーブル」
(→ P23) を接続します。
- ⑨ 地上デジタル放送用アンテナ端子
付属の「地上デジタル放送用ロッドアンテナ」(→ P24)、またはオプションの「地上デジタル放送用外部アンテナ」を接続します。
- ⑩ GPS アンテナ端子
オプションの「外部 GPS アンテナ」を接続します。
- ⑪ 電源ボタン
・短押すると、画面表示が OFF/ON します。
・長押しは電源の OFF/ON を行います。
- ⑫ 背面ラベル
- ⑬ スピーカー
- ⑭ 取り付けスタンド取り付け口
付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。
(→ P20)



- ① 液晶ディスプレイ
- ② ナビ
ナビアプリを起動します。(→ P38)
- ③ テレビ
テレビアプリを起動します。(→ P94)
- ④ モード切り替え
ナビモードとタブレットモードを切り替えます。(→ P25)
- ⑤ ボリュームアップ
メインボリュームを大きくします。
- ⑥ ボリュームダウン
メインボリュームを小さくします。



- ① マイクロ SD カード挿入口
マイクロ SD カードを挿入します。
(→ P24)
- ② miniB-CAS カード挿入口
付属の「miniB-CAS カード」を挿入し
ます。(→ P96)
- ③ カメラ入力端子
オプションの「カメラケーブル」を接続
します。(→ P108)
- ④ AUX 出力端子
外部スピーカーに接続します。
- ⑤ AV 入力端子
オプションの「AV ケーブル」を接続し
ます。(→ P106)
- ⑥ USB 端子
USB メモリーを挿入します。(→ P24)
- ⑦ 電源ランプ
- ⑧ 電源入力ケーブル
付属の「シガーソケットコード」
(→ P22)、または「常時電源ケーブル」
(→ P23) を接続します。
- ⑨ 地上デジタル放送用アンテナ端子
付属の「地上デジタル放送用ロッドアン
テナ」(→ P24)、またはオプション
の「地上デジタル放送用外部アンテナ」
を接続します。
- ⑩ GPS アンテナ端子
オプションの「外部 GPS アンテナ」を
接続します。
- ⑪ 電源ボタン
・ 短押すると、画面表示が OFF/ON し
ます。
・ 長押しは電源の OFF/ON を行いま
す。
- ⑫ 背面ラベル
- ⑬ スピーカー
- ⑭ 取り付けスタンド取り付け口
付属の「吸盤スタンド」を取り付けま
す。(→ P20)

取り付け位置について

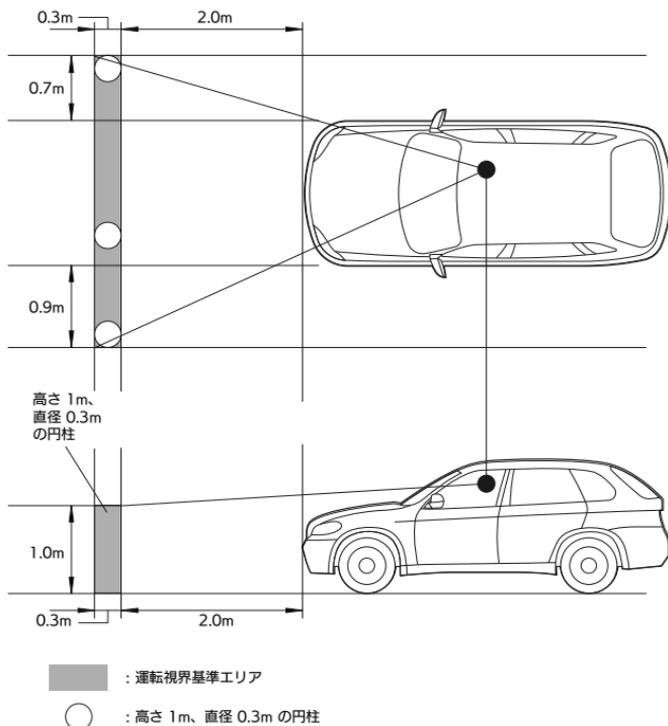
国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように、「前方視界について」、「直前直左視界について」に従って取り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準における第 21 条および第 44 条で定める基準を言います。

前方視界について

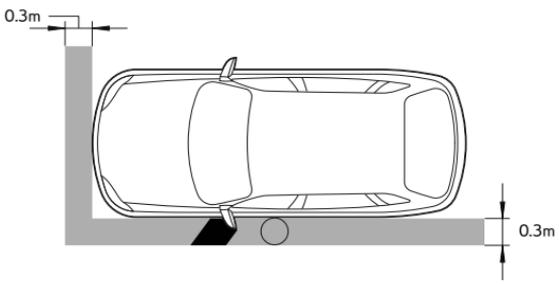
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m の円柱を鏡などをを用いず直接確認できるように取り付けてください。

下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルのときは、左右逆になります。



直前直左視界について

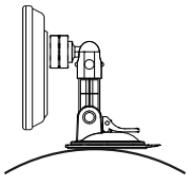
自動車の前面および左側面（左ハンドル車においては右側面）に接する高さ 1m、直径 0.3m の円柱を直接に、もしくは鏡、画像などにより間接に確認できるように取り付けてください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルのときは、左右逆になります。



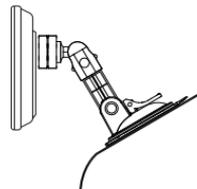
- : 運転視界基準エリア
- : 高さ 1m、直径 0.3m の円柱
- : 適用外エリア

取り付け位置の注意点について

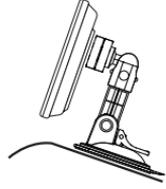
- 前面ガラスおよび側面ガラス（運転者席の左右）への取り付けは、保安基準第 29 条に不適合となりますので、絶対におやめください。
- エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
- 吸盤スタンドは必ず吸盤スタンドベース板の上に取り付けてください。
- 吸盤スタンドベース板は、布生地、革（合成皮革含む）、極端に目の粗いシボ面、塗装面、曲面、凹凸が大きい車種には貼り付けができないことがあります。
- 必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。
- 以下のような場所には絶対に取り付けしないで下さい。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



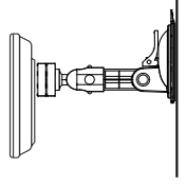
取り付け面が密着しない曲面



約 30° 以上傾いた面



不安定な面



垂直な面

スタンドを取り付ける

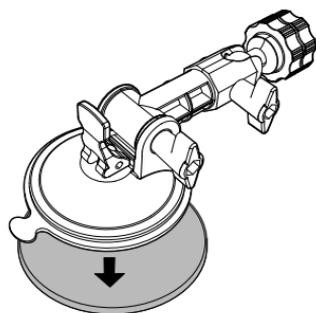
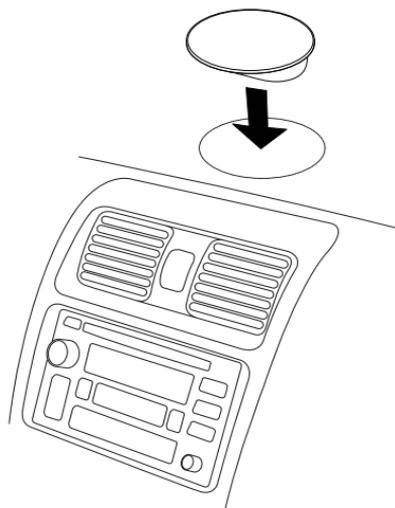
1 付属の「吸盤スタンドベース板」を貼り付けます。

- (1) 貼り付け場所のワックス、油、汚れなどをきれいに落としてください。
- (2) 裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。貼り付け直後は粘着力が弱いため、必ず 24 時間以上、吸盤スタンドベースのみの状態で放置してください。また、気温が低い(10℃以下)のときは、粘着力が低下します。低温時を避けて貼り付けてください。

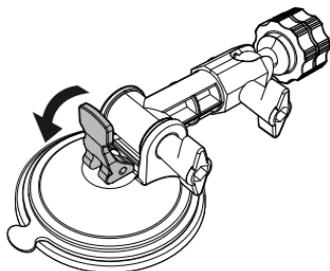
※貼り付け場所の材質、色などによっては、剥がしたときに、貼り付け跡が目立ったり、粘着部分が残ったりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

2 付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。

- (1) 吸盤スタンドベース板の上に仮置きします。

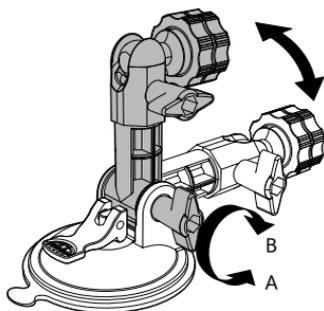


- (2) 吸盤スタンド固定レバーを倒して固定します。



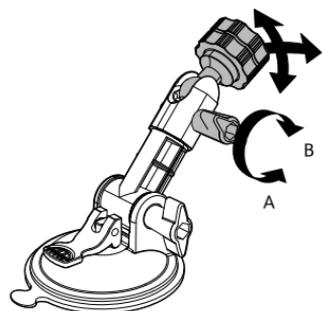
3 吸盤スタンドのアーム角度を調整します。

- (1) 吸盤スタンドアームの止めネジを A の方向に回してゆるめます。
- (2) 吸盤スタンドアームの角度を調整します。
- (3) 吸盤スタンドアームの止めネジを B の方向に回して固定します。



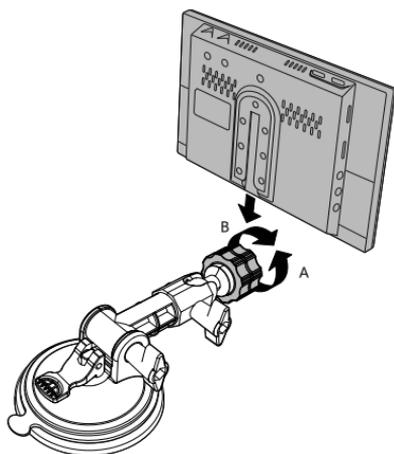
4 本体取り付けステーの角度を調整します。

- (1) 本体取り付けステーの止めネジを A の方向に回してゆるめます。
- (2) 本体取り付けステーの角度を調整します。
- (3) 本体取り付けステーの止めネジを B の方向に回して固定します。



5 本体を本体取り付けステーに取り付けます。

- (1) 本体取り付けステーの本体固定ネジを A の方向に回してゆるめます。
- (2) 本体を本体取り付けステーにはめ込みます。
- (3) 本体取り付けステーの本体固定ネジを B の方向に回して固定します。

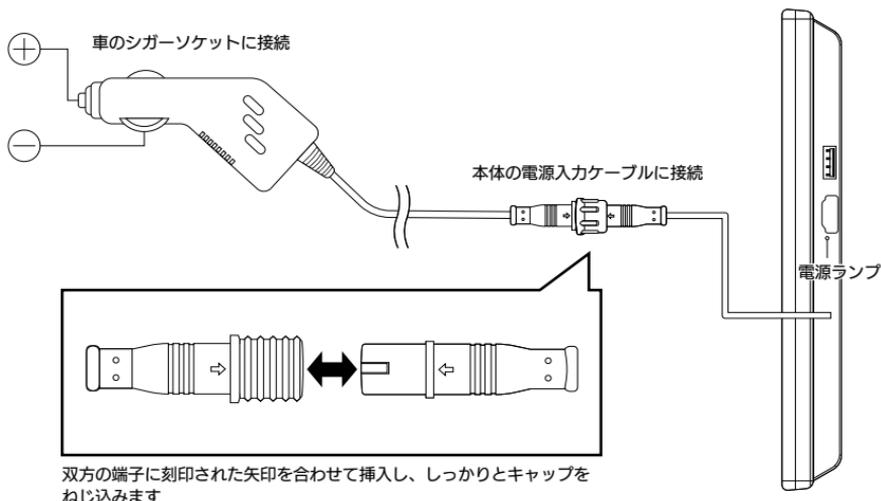


シガーソケットに接続する

付属の「シガーソケットコード」を本体の電源入力ケーブルと車のシガーソケット（アクセサリソケット）に接続します。

シガーソケットに接続しているときは、エンジンキーに連動して、電源が OFF / ON します。

※車のエンジンを OFF しても電源が OFF しないときは、本体の電源入力ケーブルに接続したソケットを抜くか、電源ボタンを長押しして、「電源を切る」をタッチしてください



 起動時間を短縮したいときは、付属の「常時電源ケーブル」で、車の常時電源に接続することをご検討ください。（→P23）

常時電源に接続する

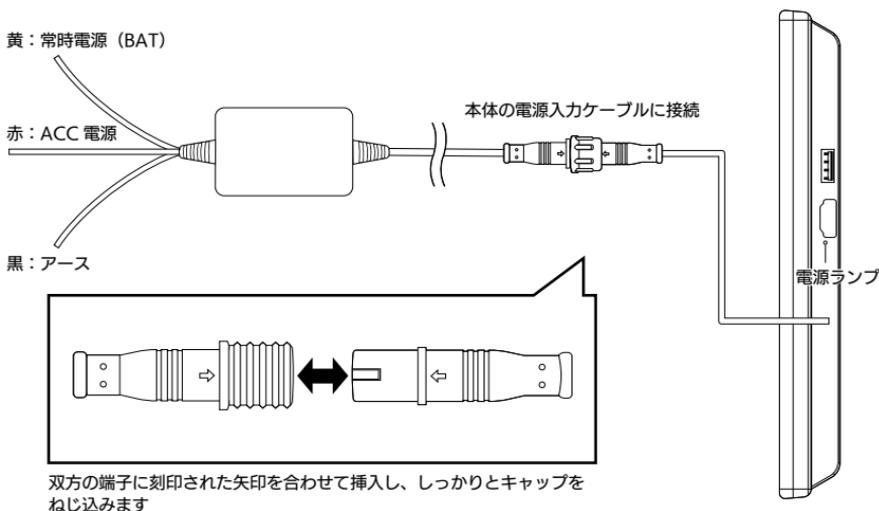
付属の「常時電源ケーブル」を本体の電源入力ケーブルと車の常時電源に接続します。

常時電源に接続しているときは、エンジンキーに連動して、サスペンド/レジュームします。

※「常時電源」、「ACC 電源」をヒューズ BOX から接続するときは、お車の配線図にて各ヒューズの位置をご確認ください。ヒューズの位置は車種によって異なります。

※バッテリー保護のため、バッテリーの電圧が弱まり一定数以下（電圧 12V 接続は 12V 以下、電圧 24V 接続は 24V 以下）になると、電源が OFF されます。電源が OFF されているときは、エンジンキーに連動して電源が ON します。

※本機を長期間ご利用にならないときは、バッテリーの負担を減らすため、本体の電源入力ケーブルに接続したソケットを抜くか、電源ボタンを長押しして、「電源を切る」をタッチしてください。

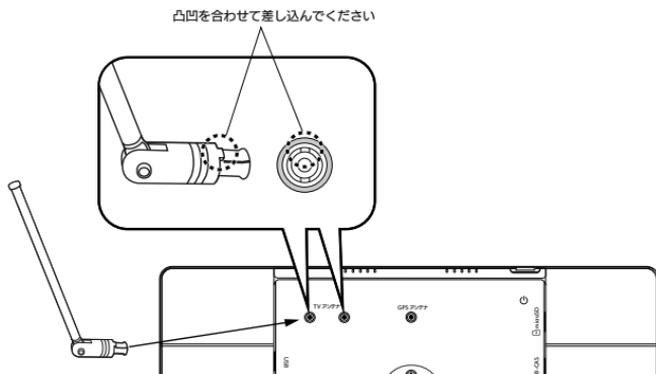


 常時電源ケーブルの取り付けには専門技術が必要です。自動車整備工場、またはカー用品店での取り付けをおすすめします。

ロッドアンテナを取り付ける

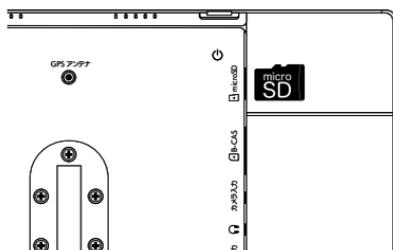
付属の「地上デジタル放送用ロッドアンテナ」は、ロッドアンテナの凸とアンテナ接続端子の凹を合わせて差し込んでください。正しく差し込むとカチッと音がします。

取り外すときは、根元を持って引き抜いてください。



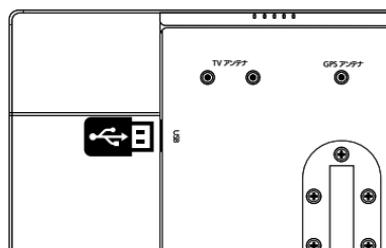
マイクロSDカードを取り付ける／取り外す

- ・ マイクロSDカードを取り付ける：
 - > 電源を OFF にする。
 - > イラストを参考にして、microSD カードをカチッと音がするまで、差し込みます。
- ・ マイクロSDカードを取り外す：
 - > 電源を OFF にする。
 - > microSD カードを奥に押します。
 - > microSD カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。



USBメモリを取り付ける／取り外す

- ・ USBメモリを取り付ける：
 - > 電源を OFF にする。
 - > イラストを参考にして、USBメモリーを差し込みます。
- ・ USBメモリを取り外す：
 - > 電源を OFF にする。
 - > USBメモリーを引き抜きます。



電源を ON / OFF する

- シガーソケットに接続しているとき (→ P22) は、エンジンキーに連動して、電源が OFF / ON します。
- 常時電源に接続しているとき (→ P23) は、エンジンキーに連動して、サスペンド/レジュームします。
- 本体上部の電源ボタンを長押しすると、電源ボタンメニューが表示されます。電源ボタンメニューから「電源を切る」、もしくは「再起動」します。
- 本体上部の電源ボタンを短押しすると、画面表示が OFF/ON します。

ナビモードとタブレットモードについて

本機は、ナビモードとタブレットモードの2つのモードがご利用になります。

ナビモードでは、ナビアプリ、テレビアプリなどブラインストールされたアプリがご利用になります。(→ P28)

タブレットモードでは、Google Play ストアからさまざまなアプリをダウンロードしてご利用になります。(→ P34)

ナビモードメニュー

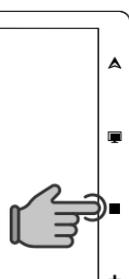


タブレットモードホーム画面

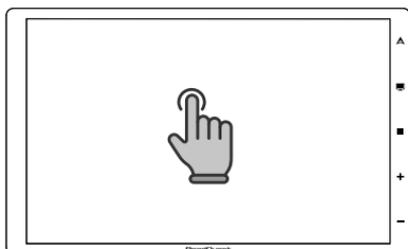


本体のタッチパネルボタンで、ナビモードとタブレットモードを切り替えます。

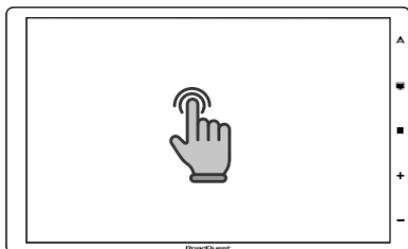
ナビモードのナビモードメニュー (→ P28)、タブレットモードのホーム画面 (→ P34) の切り替えアイコンでもモードの切り替えができます。



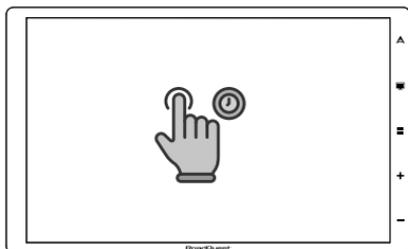
タッチパネルの操作について



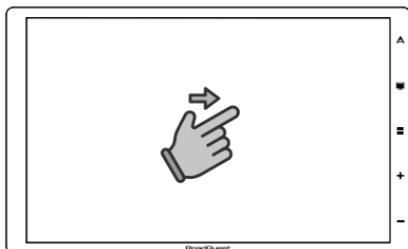
タッチ (タップ) :
画面上の任意の場所を指 1 本で軽く触れ、
すぐに指を離します。



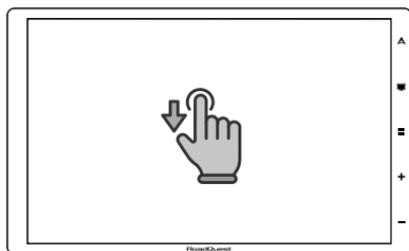
ダブルタップ :
画面上の任意の場所を素早く 2 回連続でタッ
プします。



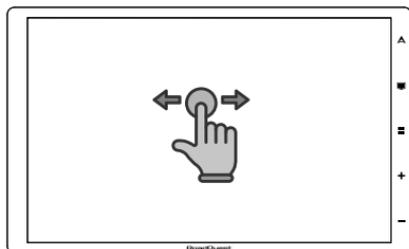
長押し :
画面上の任意の場所を指 1 本で押し続けま
す。



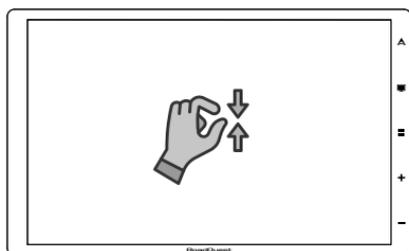
フリック :
画面に触れ、任意の方向に指を払うように動
かします。



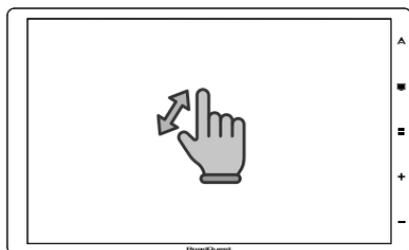
スワイプ：
画面に触れ、目的の方向に指を滑らすように動かします。



ドラッグ：
画面に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。



ピンチイン（指を狭める）：
2本の指で画面を押さえ、摘むように指を近づけます。



ピンチアウト（指を広げる）：
2本の指で画面を押さえ、指を広げて遠ざけます。

ナビモード

ナビモードメニュー



ナビ

ナビアプリを起動します。(→ P38)

テレビ

テレビアプリを起動します。(→ P94)

動画

動画プレーヤーアプリを起動します。
(→ P102)

音楽

音楽プレーヤーをアプリ起動します。
(→ P103)

AV入力

接続した外部機器の入力に切り替えます。
(→ P106)

リアビュー

リアビューとして接続したバックカメラの表示に切り替えます。(→ P108)

システム設定

画面の明るさなどの各種システム設定を行います。(→ P29)

システム情報

システム情報を確認します。(→ P30)

Wi-Fi

Wi-Fi 設定を行います。(→ P31)

Wi-Fi 接続中は、アイコンが色付きで表示されます。

Bluetooth

Bluetooth 設定を行います。(→ P32)

Bluetooth 接続中は、アイコンが色付きで表示されます。

- ① **タブレットモード切り替えアイコン**
ダブルタップモードに切り替えます。
(→ P34)
- ② **Android アプリショートカット**
タッチすると該当の Android アプリが起動します。
- ③ **Android アプリショートカット編集**
タッチすると、ショートカット編集画面が表示されます。
アプリ一覧のアプリアイコンをタッチして、ショートカットを登録します。
ショートカットを長押しして、ショートカットを削除します。

システム設定

ナビモードメニューで **システム設定** をタッチして、画面の明るさなどの各種システム設定を行います。



- ① タッチ音
タッチ音の ON/OFF を設定します。
 - ② 画面明るさ (昼)
昼間の画面の明るさを設定します。
 - ③ 画面明るさ (夜)
夜間の画面の明るさを設定します。
 - ④ バックカメラ種別
接続したバックカメラの種別を設定します。(→ P109)
 - ⑤ バックガイド線表示
バックカメラのガイド線表示の ON/OFF を設定します。
 - ⑥ バックガイド線調整
調整する をタッチして、バックカメラのガイド線表示を調整します。(→ P109)
- 🕒 4月～9月は 18:00～翌 6:00、10月～3月は 17:00～翌 7:00 が夜間になります。

システム情報

ナビモードメニューで **システム情報** をタッチして、システム情報を確認します。また、「ナビモードメニューのシステム設定」(→ P29) で設定した内容を工場出荷時に戻すことができます。



① システム情報

モデル名、ファームウェアのバージョンが表示されます。

※本マニュアルのモデル名、ファームウェアのバージョンは、実際とは異なります。

工場出荷時に戻す

「ナビモードメニューのシステム設定」(→ P29) で設定した内容を工場出荷時に戻します。

Wi-Fi 設定

スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能、もしくはモバイル Wi-Fi ルーターを利用してインターネットに接続します。

1 スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能を利用するときは、スマートフォンの Wi-Fi テザリングを ON にします。

・ iPhone をお使いのとき

- (1) **設定** をタッチします。
- (2) **インターネット共有** をタッチします。
- (3) 「インターネット共有」を **ON** にします。
- (4) インターネット共有画面のまま本機を接続してください。iPhone の名称がネットワーク名になります。

・ Android スマートフォンをお使いのとき

- (1) **設定** をタッチします。
- (2) **その他** をタッチします。
- (3) **テザリング** をタッチします。
- (4) **Wi-Fi テザリング** をタッチします。
- (5) 端末の名称 (もしくは SSID) がネットワーク名になります。

※機種によりメニュー名、操作手順は異なります。詳しくはご利用機種の取扱説明書をご確認ください。

※ご利用のスマートフォンがテザリングが利用できる契約になっているか、ご確認のうえご利用ください。

2 ナビモードメニューで **Wi-Fi** をタッチします。

3 **ON** をタッチして、接続したいネットワーク名をタッチします。



4 パスワードを入力します。



5 接続されると「接続済み」と表示されます。



Wi-Fi を ON の状態で、電源を OFF すると、次回起動時は自動的に最後に接続したネットワークに接続します。

Wi-Fi 設定は、タブレットモードの **設定** → **ネットワークとインターネット** から行えます。

Bluetooth 設定

本機は、Bluetooth の A2DP プロファイル (送信) に対応しています。
本機の音声を A2DP プロファイルに対応した Bluetooth スピーカーなどに出力します。

新しい機器とペアリングする

1 ナビモードメニューで **Bluetooth** をタッチします。

2 **ON** をタッチして、Bluetooth を有効にします。
+ 新しいデバイスとペア設定 をタッチします。



3 接続可能なデバイスが表示されます。リストからペアリングしたい機器をタッチして、ペアリングします。



4 ペアリングすると、「接続中のデバイス」に表示されます。

- ① **接続解除アイコン**
該当機器の接続を解除します。
- ② **ペア設定削除アイコン**
該当機器とのペア設定を削除します。



保存済みの機器に接続する

1 ナビモードメニューで **Bluetooth** をタッチします。

2 **ON** をタッチして、Bluetooth を有効にします。

「保存済みのデバイス」から接続したい機器の **接続アイコン** をタッチします。

- ① **接続アイコン**
該当機器と接続します。
- ② **ペア設定削除アイコン**
該当機器とのペア設定を削除します。



3 接続すると、「接続中のデバイス」に表示されます。

- ① **接続解除アイコン**
該当機器の接続を解除します。
- ② **ペア設定削除アイコン**
該当機器とのペア設定を削除します。



Bluetooth を ON の状態で、電源を OFF すると、次回起動時は自動的に最後に接続した機器に接続します。

Bluetooth 設定は、タブレットモードの **設定** → **接続設定** から行えます。

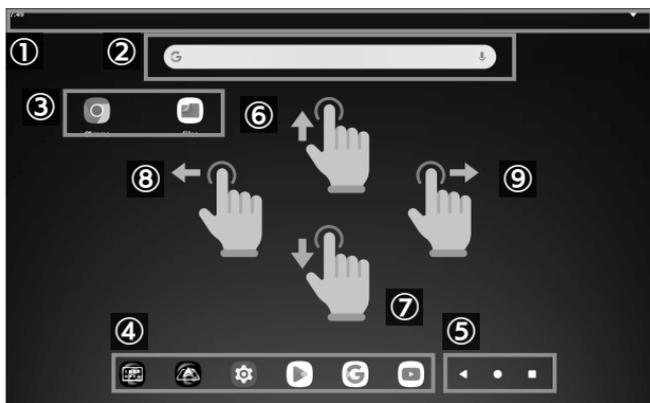
タブレットモード



Android の詳しい操作方法については、Google ヘルプをご覧ください。

<https://support.google.com>

ホーム画面



- ① ステータスバー
通知アイコン、システムアイコンを表示します。
- ② ウィジェット
初期設定では Google 検索ウィジェットが設定されています。
- ③ アプリショートカット
タッチすると該当のアプリが起動します。
- ④ ドック
よく利用するアプリのショートカットを登録します。
- ⑤ ナビゲーションバー
 1 つ前の画面に戻ります。
 ホーム画面を表示します。
 最近使用したアプリを一覧表示します。
- ⑥ 下から上方向にスワイプ (→ P26)
アプリ一覧を表示します。(→ P35)
- ⑦ 上から下方向にスワイプ (→ P26)
通知パネル、およびクイック設定パネルを表示します。
- ⑧ 右から左方向にスワイプ (→ P26)
ホームエリアが複数ページあるときに、前ページを表示します。
- ⑨ 左から右方向にスワイプ (→ P26)
ホームエリアが複数ページあるときに、次ページを表示します。

よく使う機能について

アプリ一覧を表示する

1 ホーム画面で空いている場所を下から上方向にスワイプ(→P26)します。



2 アプリ一覧が表示されます。



Android のシステム設定を確認・変更する

1 アプリ一覧(→P35)から **設定アプリアイコン** をタッチします。



2 システム設定一覧が表示されます。該当項目をタッチして、確認・変更します。



Google アカウントを設定する

タブレットモードでは、Google アカウントを設定すると、Google が提供するオンラインサービスを利用できます。

※ Google アカウントを設定していないと、Google アカウントが必要なときに、Google アカウント設定画面が表示されます。

1 アプリ一覧 (→ P35) から **設定アプリアイコン** をタッチします。



2 システム設定一覧の **Google** をタッチし、**Google アカウントにログイン** をタッチします。



3 Google アカウントをお持ちのときは、メールアドレス、もしくは電話番号を入力してログインします。お持ちでないときは、**アカウントを作成** をタッチして、Google アカウントを作成し、ログインします。



 Google アカウントは、Google Play など、Google 社が提供するさまざまなサービスを利用するときに必要なアカウントです。Google アカウントについての詳細は、Google ヘルプをご覧ください。

<https://support.google.com>

Google Play ストアからアプリをインストールする

- 1 アプリ一覧 (→ P35) から **Playストアアプリアイコン** をタッチします。



- 2 Google Play ストアアプリが起動します。検索機能などでアプリを探し、インストールします。



ナビアプリ

現在地の測位について

現在地を測位するまでの時間について

以下のようなときは、現在地を測位するまで時間がかかることがあります。現在地の測位に時間がかかるときは、見晴らしの良い場所で、現在地の測位ができるまでは移動しないでください。

- ・ 初めてご使用になるとき。
- ・ 長期間ご使用にならなかったとき。
- ・ 前回終了時の場所から離れた場所に移動して、電源を入れたとき。
- ・ 地下駐車場など現在地が測位できない場所で終了して、電源を入れたとき。

現在地が測位できない環境について

- ・ 以下のような環境では、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができないことがあります。
 - > トンネルの中
 - > ビル内の駐車場や地下駐車場
 - > 道路の下にある道路
 - > 高架下
 - > 高層ビルなどの間
 - > 樹木の間
 - > 曇り／雨などの悪天候
- ・ 本機を電波を送受信する機器 (ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など) の近くに取り付けているときやパソコン、携帯電話を本機の近くで使っているときは、現在地の測位ができないことがあります。
- ・ 一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができないことがあります。

現在地の誤差について

- 以下のようなときは、現在地の位置や進行方向がずれることがあります。
 - > 角度の小さいY字路を走行しているとき
 - > 直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき
 - > S字の連続する道路を走行しているとき
 - > 近くに似た形状の道路がある道路を走行しているとき
 - > ループ橋などを走行しているとき
 - > 基盤目状の道路を走行しているとき
 - > 勾配の急な山道や高低差のある道路を走行しているとき
 - > 地図データにない新規道路や形状が変わった道路を走行しているとき
 - > 道路と側道が隣接しているとき
 - > 道路の下の道路を走行しているとき
 - > 高架下を走行しているとき
 - > 現在地の測位ができない状態が長く続いたとき
 - > フェリーや車両運搬車などで移動したとき
 - > 初めてご使用になったとき
 - > 長期間ご使用にならなかったとき
 - > 曇り／雨などの悪天候のとき
- 本機を電波を送受信する機器 (ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など) の近くに取り付けているときやパソコン、携帯電話を本機の近くで使っているときは、現在地の位置や進行方向がずれることがあります。

ナビアプリを起動する

ナビモードで起動する

- 1 ナビモードメニューで **ナビ** をタッチします。



タブレットモードで起動する

- 1 ホーム画面で **ナビアプリアイコン** をタッチします。



ナビアプリの基本操作について

ナビアプリの音量を調整する

1 音量アイコンをタッチして、音量調整ポップアップを表示します。

- ① **ミュートアイコン**
ナビ音声をミュートします。
- ② **音量小アイコン**
ナビ音声を1段階小さくします。
- ③ **音量大アイコン**
ナビ音声を1段階大きくします。



現在地に戻る

1 各画面の**現在地アイコン**をタッチすると、現在地地図に戻ります。



一つ前の画面に戻る

1 各画面の**戻るアイコン**をタッチすると、一つ前の画面に戻ります。



リストをスクロールする

スクロールしたい方向にリストをドラッグします。



スクロールしたい方向にリストをフリックします。
スクロール中にリストにタッチすると、スクロールが止まります。



ページ送りアイコン をタッチしてスクロールします。

ページ送りアイコン を長押しすると、連続スクロールします。



先頭ページアイコン をタッチすると、先頭ページにスクロールします。

最終ページアイコン をタッチすると、最終ページにスクロールします。



文字入力について

施設名検索や駅名検索などで、入力が必要なときは、文字入力キーボードが表示されます。文字入力キーボードは、システム標準キーボード、ナビ専用キーボードの2種類があります。キーボードの切り替えは、各種入力画面の「入力切替」をタッチするか、ナビシステム設定(→P79)で行います。

※システム標準キーボードのみ漢字入力が可能です。

システム標準キーボード

システム標準キーボードは、Google社のGboardを利用しています。

 Gboard についての詳細は、Google ヘルプで、Gboard を検索してご確認ください。
<https://support.google.com>

ナビ専用キーボード

「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、文字入力後に、  をタッチします。「ゃ」「ゅ」など小さい文字は、文字入力後に、「小文字」をタッチします。

  でカーソルを移動します。 で1文字ずつ消去します。

ひらがな入力用キーボード



カタカナ入力用キーボード



英数字入力用キーボード



数字入力用キーボード



地図画面

現在地地図



- ① 自転車位置アイコン
現在地と進行方向を表示します。GPS電波を受信しているときは、赤色で、していないときは、灰色で表示します。
- ② 方位/地図方向アイコン
現在の方位を表示します。
タッチして地図方向を切り替えます。
(→ P48)
- ③ + / -
地図スケールを変更します。(→ P49)
- ④ 地図角度アイコン
現在の地図角度あり/なしを表示します。
タッチして地図角度を変更します。
(→ P49)
- ⑤ 時刻
現在時刻を表示します。
- ⑥ 道路名/住所
走行している道路名と住所を交互表示します。
※ 名称が表示されない道路もあります。
- ⑦ Wi-Fi アイコン
現在のWi-Fi接続状態を表示します。
タッチしてWi-Fi設定を行います。
(→ P31)
Wi-Fi接続中は、アイコンが色付きで表示されます。
- ⑧ 音量アイコン
現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。
タッチしてナビの音量調整を行います。
(→ P41)
- ⑨ ボタン表示アイコン
タッチして画面上のボタン表示(アイコン+文字/アイコンのみ/非表示)を切り替えます。
※一部非表示にならないボタンがあります。
- ⑩ 前方交差点のレーン情報
前方交差点のレーン情報を表示します。



AV

AV メニューを表示します。(→ P52)

目的地

目的地を設定します。(→ P54)

メニュー

ナビメニューを表示します。(→ P53)

終了

ナビアプリを終了します。

施設アイコン

施設アイコン表示設定画面を表示します。
(→ P80)

自宅登録

現在地を自宅として登録します。
(→ P84)

地点登録

現在地を地点登録します。(→ P85)

周辺検索

現在地周辺にある施設を検索します。

道路切替

自車位置を別の道路に切り替えます。
(→ P77)

スクロール地図



- ① スクロールカーソル
 - ② **方位／地図方向アイコン**
現在の方位を表示します。
タッチして地図方向を切り替えます。
(→ P48)
 - ③ **+ / -**
地図スケールを変更します。(→ P49)
 - ④ **地図角度アイコン**
現在の地図角度あり／なしを表示します。
タッチして地図角度を変更します。
(→ P49)
 - ⑤ 時刻
現在時刻を表示します。
 - ⑥ 地名
スクロールカーソル位置付近の住所／交差点名／施設名を表示します。
 - ⑦ **Wi-Fi アイコン**
現在の Wi-Fi 接続状態を表示します。
タッチして Wi-Fi 設定を行います。
(→ P31)
Wi-Fi 接続中は、アイコンが色付きで表示されます。
 - ⑧ **音量アイコン**
現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。
タッチしてナビの音量調整を行います。
(→ P41)
 - ⑨ **地図回転アイコン**
地図を回転します。(→ P48)
- クイックルート**
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索して、案内を開始します。
(→ P73)
- ルート探索**
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索します。(→ P66)
- 自宅登録**
スクロールカーソル位置を自宅として登録します。(→ P84)
- 地点登録**
スクロールカーソル位置を地点登録します。(→ P85)
- 周辺検索**
スクロールカーソル位置周辺にある施設を検索します。

地図の操作について

地図をスクロールする

地図スクロールは、ドラッグ・フリックとタップ・ホールドの2種類があります。スクロールタイプは、ナビシステム設定で変更します。(→ P79)

■ ドラッグ・フリック

地図をドラッグ(→ P26)して表示したい箇所に移動します。



フリック(→ P26)で地図を表示したい方向に素早く移動します。



■ タップ・ホールド

タッチ(→ P26)した地点を画面の中心に移動します。



スクロールしたい方向の地図を長押し(→ P26)して連続で地図をスクロールします。



地図方向を変更する

地図の **方位/地図方向アイコン** をタッチして地図方向を変更します。



ヘディングアップ (進行方向)

常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。



ノースアップ (北上固定)

常に北の方向が画面の上になるように地図を表示します。



地図を回転する

地図の **回転アイコン** をタッチして地図を回転します。ボタンを長押しすると連続で回転します。



地図のスケールを変更する

地図の **+** / **-** をタッチして地図スケールを変更します。



+ / **-** を長押しすると、地図スケール変更ポップアップが表示されます。

変更したいスケールをタッチして地図スケールを変更します。



ナビアプリ

地図の角度を変更する

地図の **地図角度アイコン** をタッチして地図角度のあり/なしを切り替えます。

※地図角度は、地図方向がヘディングアップ（進行方向）時のみ有効です。



地図角度アイコン を長押しすると、地図角度変更ポップアップが表示されます。

地図角度変更アイコン をタッチして、地図角度を変更します。



地図表示記号について

地図アイコン

	都道府県庁舎
	市役所・特別区庁舎
	町村役場・政令指定都市区役所
	消防署（分署・支署・出張所含む）
	自衛隊
	学校
	病院
	警察署・交番・駐在所
	図書館
	海水浴場・（湖水・池）水泳場
	スーパー・ショッピング施設
	ホテル・旅館・宿泊施設
	史跡・旧跡・観光名所
	神社
	城・天守閣
	寺院
	教会
	城跡
	美術館
	博物館
	飛行場・空港
	港
	フェリーターミナル
	山頂

	工場
	交差点
	サービスエリア
	パーキングエリア
	インターチェンジ
	ジャンクション
	料金所
	ランプ（出入口）
	ランプ（出口専用）
	墓地
	JRA競馬場・ウインズ
	展望タワー
	動物園
	植物園
	水族館
	ゴルフ場
	温泉
	スキー場
	遊園地
	テーマパーク
	キャンプ場
	スタジアム
	郵便局
	運動施設

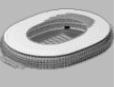
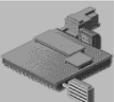
	公園
	マリナー
	大学
	短大
	高専
	高校

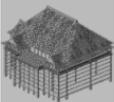
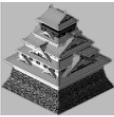
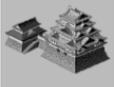
	中学校
	小学校
	特別支援学校
	富士山
	バス停
	駅

3D アイコン (例)

日本全国の名所を 3D アイコンで地図に表示します。

※以下の 3D アイコンは一例です。

	PayPayドーム
	ユニバーサルスタジオ
	ヨコハマランドマークタワー
	京都国立近代美術館
	国立競技場
	国立劇場
	札幌市時計台

	清水寺
	大阪城
	通天閣
	日産スタジアム
	名古屋城
	雷門
	六本木ヒルズ

ナビアプリと AV 機能を分割表示する

1 地図の **AV** をタッチします。

2 AV メニューが表示されます。該当の AV 機能をタッチします。



3 ナビアプリ画面と AV 画面が同時に分割表示されます。
※地図以外のナビアプリ画面は、全画面表示されます。



4 ナビアプリ画面をダブルタップすると、ナビアプリ画面を全画面表示します。AV 機能は音声だけになります。
分割表示に戻るには地図の **AV** をタッチして、AV メニューから該当の AV 機能をタッチします。

5 AV 画面の中央付近をダブルタップ、もしくは **全画面表示アイコン** をタッチすると、AV 画面を全画面表示します。
ナビアプリは音声だけになります。
ナビ をタッチすると、分割表示に戻ります。
X をタッチすると、AV 機能が終了してナビアプリ画面が全画面表示されます。



 ナビアプリと AV 機能を同時に実行しているときは、ナビアプリの音声出力時に AV 機能の音声はミュート（消音）されます。
AV 機能の音声をミュート（消音）したくないときは、ナビアプリ音声をミュート（消音）してください。（→P41）

ナビメニュー

地図の「メニュー」をタッチしてナビメニューを表示します。



目的地検索

目的地を設定します。(→ P54)

ルート編集

目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索します。(→ P67)

登録ルート

登録ルートからルートを設定します。(→ P87)

ナビ設定

地図の表示内容やルート計算方法などのナビの各種設定を行います。(→ P78)

登録情報管理

登録地点や検索履歴などの登録情報を管理します。(→ P84)

GPS情報

GPS情報を表示します。(→ P89)

ナビシステム情報

ナビシステムのバージョン情報を表示します。(→ P89)
また、ナビデータの初期化を行います。(→ P89)

地点を検索する

さまざまな方法を使って、目的地、出発地、経由地を検索します。

目的地／出発地／経由地検索メニュー

目的地検索は、地図の **目的地** をタッチ、または **メニュー** → **目的地検索** をタッチします。



目的地履歴

目的地履歴から地点を検索します。

(→ P56)

検索履歴

検索履歴から地点を検索します。

(→ P56)

自宅

登録された自宅を検索地点にします。

(→ P56)

登録地点

登録地点から地点を検索します。

(→ P57)

周辺検索

現在地周辺の施設から地点を検索します。

(→ P58)

名前

施設名から地点を検索します。(→ P59)

住所

住所から地点を検索します。(→ P60)

電話番号

電話番号から地点を検索します。

(→ P61)

駅名

駅名から地点を検索します。(→ P62)

ジャンル

施設のジャンルから地点を検索します。

(→ P63)

地図

地図から地点を検索します。(→ P65)

緯度経度

緯度と経度から地点を検索します。

(→ P65)

検索地点周辺地図

目的地、出発地、経由地を検索すると、検索地点周辺の地図が表示されます。目的の地点が検索地点から離れているときは、地図をスクロールさせて調整します。



クイックルート

現在地から検索地点までをルート探索して案内を開始します。(→ P73)

ルート探索

現在地から検索地点までのルート探索を開始します。(→ P66)

自宅登録

検索地点を自宅として登録します。(→ P84)

地点登録

検索地点を地点登録します。(→ P85)

周辺検索

検索地点の周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。



ルート編集時は、**クイックルート**、**ルート探索** は表示されずに、**目的地** / **出発地** / **経由地** が表示されます。それぞれのボタンをタッチして検索地点を目的地 / 出発地 / 経由地にします。



クイックルートではすぐに案内が開始されます。

目的地履歴から検索する

目的地履歴から地点を検索します。

目的地履歴は最大 500 件まで保存されます。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **目的地履歴** をタッチします。

2 目的地履歴リストから該当の目的地履歴をタッチします。

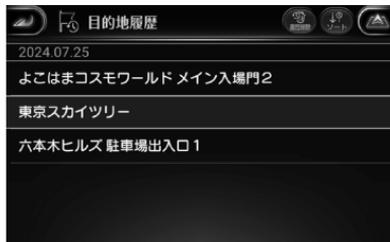
履歴削除

目的地履歴削除画面を表示します。

(→ P88)

ソート

目的地履歴を並べ替えます。



3 選択した目的地履歴地点周辺の地図が表示されます。(→ P55)

検索履歴から検索する

検索履歴から地点を検索します。

検索履歴は最大 500 件まで保存されます。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **検索履歴** をタッチします。

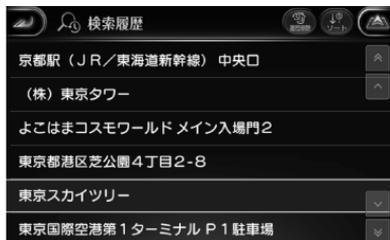
2 検索履歴リストから該当の検索履歴をタッチします。

履歴削除

検索履歴削除画面を表示します。(→ P88)

ソート

検索履歴を並べ替えます。



3 選択した検索履歴地点周辺の地図が表示されます。(→ P55)

自宅を検索地点にする

自宅を検索地点にします。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **自宅** をタッチします。

2 自宅周辺の地図が表示されます。(→ P55)

登録地点から検索する

登録地点から地点を検索します。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **登録地点** をタッチします。

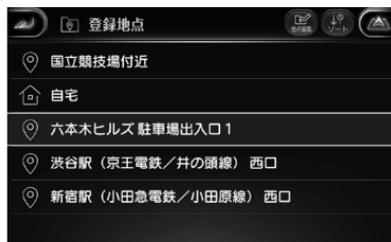
2 登録地点リストから該当の登録地点をタッチします。

地点編集

登録地点管理画面を表示します。(→ P86)

ソート

登録地点を並べ替えます。



3 選択した登録地点周辺の地図が表示されます。(→ P55)

周辺施設から検索する

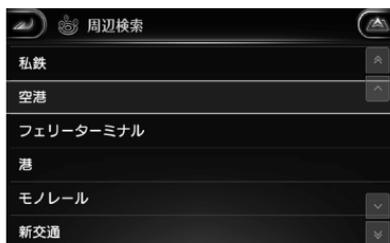
現在地周辺の施設から地点を検索します。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **周辺検索** をタッチします。

2 ジャンルリスト（大分類）から該当のジャンルをタッチします。



3 ジャンルリスト（小分類）から該当のジャンルをタッチします。



4 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



5 選択した施設に出入口情報があるときは、出入口リストが表示されます。リストから該当の出入口をタッチします。



6 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ P55)

施設名から検索する

施設名から地点を検索します。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **名前** をタッチします。

2 施設名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)
入力完了後、**検索** をタッチします。
※検索は前方一致で行います。



3 ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

ソート

検索結果を並べ替えます。

絞り込み

検索結果を都道府県で絞り込みます。



4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ P55)

住所から検索する

住所から地点を検索します。

1 メニュー → 目的地検索 → 住所 をタッチします。

2 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。
地名は50音順に分類されています。画面上部の「あ～わ」をタッチしてリストの頭出しを行います。



3 都道府県と同様に、市区町村 → 町名 → 丁目 → 番地 → 号と順番に選択します。
番地、号では、画面上部の「数字」をタッチしてリストの頭出しを行います。



④ 番地など住所の詳細が分からないときは、各リストに表示されている「代表地点」をタッチして選択した住所の代表地点を表示します。

4 選択した住所周辺の地図が表示されます。(→ P55)

電話番号から検索する

電話番号から地点を検索します。

本機にはホームページに掲載されている全国の施設、お店、企業などの電話番号が収録されています。

※個人宅の電話番号は収録されていません。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **電話番号** をタッチします。

2 電話番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→P43)

入力完了後、**検索** をタッチします。



3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。



4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→P55)

駅名から検索する

駅名から地点を検索します。

本機には全国の JR・私鉄・地下鉄・その他鉄道の駅が収録されています。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **駅名** をタッチします。

2 駅名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)

入力完了後、**検索** をタッチします。

※検索は前方一致で行います。



3 ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の駅をタッチします。



4 選択した駅に出入口情報があるときは、出入口リストが表示されます。

リストから該当の出入口をタッチします。



5 選択した駅周辺の地図が表示されます。(→ P55)

施設のジャンルから検索する

施設のジャンルから地点を検索します。

1 **メニュー** → **目的地検索** → **ジャンル** をタッチします。

2 ジャンルリスト（大分類）から該当のジャンルをタッチします。



3 ジャンルリスト（小分類）から該当のジャンルをタッチします。



4 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。

地名は50音順に分類されています。画面上部の **あ** ~ **わ** をタッチしてリストの頭出しを行います。



5 都道府県と同様に、市区町村を選択します。



6 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

ソート

検索結果を並べ替えます。



7 選択した施設に出入口情報があるときは、出入口リストが表示されます。

リストから該当の出入口をタッチします。



8 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ P55)

地図から検索する

地図から地点を検索します。

- 1 **メニュー** → **目的地検索** → **地図** をタッチします。
- 2 地図をスクロールさせて地点を探します。
- 3 地点にカーソルを合わせます。(→ P55)

緯度と経度から検索する

緯度と経度から地点を検索します。

- 1 **メニュー** → **目的地検索** → **緯度経度** をタッチします。
- 2 緯度と経度を入力します。入力、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)
入力完了後、**検索** をタッチします。
入力単位 をタッチして、緯度経度の入力単位(10進度/度分秒)を切り替えます。
- 3 入力した緯度と経度周辺の地図が表示されます。(→ P55)



ルート探索

目的地を探してルート探索する

目的地検索メニューや地図から目的地を探してルート探索します。

- 1 目的地検索メニュー（→P54）から目的地を検索します。または、地図をスクロールさせて目的地を検索します。
- 2 目的地周辺地図の「**ルート探索**」、もしくは「**クイックルート**」をタッチしてルート探索を開始します。



① ルート探索設定（→P81）の設定内容でルート探索します。

② クイックルートではすぐに案内が開始されます。

3 目的地の周辺に有料道路があるときは、目的地を一般道路上と有料道路上のどちらにするかを選択するポップアップが表示されます。目的地を有料道路上に設定したいときは、「はい」を、一般道路上に設定したいときは、「いいえ」をタッチします。

4 ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。（→P70）



ルート編集してルート探索する

目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索します。

1 **メニュー** → **ルート編集** をタッチします。

2 目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。
※時間規制考慮などの条件は、ルート探索設定で変更します。(→ P81)



- ① 目的地
目的地を設定します。(→ P54)
 - ② 目的地削除
目的地を削除します。
 - ③ 経由地
経由地を設定します。(→ P68)
 - ④ 出発地
出発地を設定します。(→ P54)
 - ⑤ 出発地削除
出発地を削除します。
 - ⑥ **入替アイコン**
出発地と目的地を入れ替えます。
 - ⑦ ルート計算方法
ルート計算方法 (→ P72) を設定します。
- ルート探索**
ルート探索を開始します。ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。(→ P70)

経路地を設定する

ルート編集画面で、立ち寄りたい場所を経路地に設定します。通りたい道や交差点を、経路地に設定することによって、希望するルートに近いルートを探索できます。

- 経路地は最大5ヶ所まで設定できます。
- 経路地を設定すると、経路地から一番近い道路を走行するようにルート探索します。そのため、ルート探索結果が経路地付近で最適にならないことがあります。
- 経路地はできる限り立ち寄りたい場所に近い道路上に設定してください。
- 以下のような場所を経路地として設定すると、ルート探索できないことがあります。
 - > 一方通行道路上に経路地を設定する。
 - > 道路から離れた地点を経路地に設定する。
 - > 経路地と目的地、出発地、経路地の間を近くに設定する。
 - > 海、離島などに経路地を設定する。
- 複数の経路地を設定すると、目的地までの走行距離が長くなることがあります。
- 複数の経路地を設定すると、ルート探索に時間がかかることがあります。

1 ルート編集画面で「経路地」をタッチします。



2 経路地編集画面が表示されます。
+ をタッチします。



3 経路地検索メニュー (→ P54) から経路地を検索します。

4 経路地周辺地図の **経路地** をタッチします。



5 経路地が追加されました。
次の経路地を追加します。ルート探索時には、
上から順番に探索されます。
経路地の設定を完了するには **決定** をタッチ
します。

- ① **+**
経路地を追加します。
- ② **-**
経路地を削除します。
- ③ **入替アイコン**
該当の2つの経路地の順序を入れ替えます。

6 経路地が設定されました。
経路地には現在設定されている最初の経路地を
表示します。



ナビアプリ



ルート全景

ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。



おすすめ / 有料優先 / 一般優先 / 距離優先

ルート案内するルート計算方法 (→ P72) を選択します。

各ルート計算方法でのルートの走行距離と所要時間を表示します。

※所要時間は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なることがあります。

道路別の走行速度は、ルート探索設定で変更します。(→ P81)

デモ走行

ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。(→ P71)

ルート情報

走行ルートと案内内容をデモ走行で確認します。(→ P71)

ルート保存

現在のルートを保存します。保存したルートは呼び出して利用します。(→ P87)

ルート案内

ルート案内を開始します。(→ P73)

ルート情報を表示する

ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。

- 1 ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。(→ P70)
ルート全景で **ルート情報** をタッチします。

- 2 案内地点リストが表示されます。
地図で確認したい案内地点をタッチします。



- 3 案内地点周辺の地図が表示されます。
前へ、**次へ** をタッチして案内地点を移動します。



デモ走行する

走行ルートと案内内容をデモ走行で確認します。

- 1 ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。(→ P70)
ルート全景で **デモ走行** をタッチします。

- 2 デモ走行が開始されます。
加速、**減速** をタッチしてデモ走行の速度を調節します。



ルート計算方法について

ルート計算方法は、以下の4つがご利用になれます。

- (1) おすすめ
道路幅の広い幹線道路を優先して探索します。そのため目的地までの距離が他の探索条件よりも長くなることがあります。
- (2) 有料優先
有料道路をなるべく使ったルートを探します。目的地までの距離が短いときや目的地方向に有料道路のICがないときなど、条件によっては有料道路を使用しないことがあります。
- (3) 一般優先
有料道路をなるべく使わないルートを探します。
※目的地までの直線距離がおおよそ500km以内のときにご利用が可能です。
- (4) 距離優先
なるべく距離が短いルートを探します。
※道路条件などによっては、必ず最短距離になるとは限りません。
※目的地までの直線距離がおおよそ300km以内のときにご利用が可能です。

ルート探索時の注意点について

- 出発地と目的地が近すぎるとルート探索できないことがあります。
- 出発地、目的地の近くに、ルート探索可能な道路がないときは、ルート探索できないことがあります。出発地、目的地をなるべく幅の広い道路に移動してください。
- ルート計算方法の「一般優先」は、目的地までの直線距離がおおよそ500km以内のときにご利用が可能です。500kmを超えるときは、「おすすめ」でルート探索します。
- ルート計算方法の「距離優先」は、目的地までの直線距離がおおよそ300km以内のときにご利用が可能です。300kmを超えるときは、「おすすめ」でルート探索します。
- フェリーを利用するときは、ルート探索設定でフェリー利用を「する」に設定してください。(→P81)
- 設定した条件によっては、ルート探索できないことがあります。そのときは、条件を変更して、再度ルート探索を行ってください。

ルート案内

目的地周辺地図の **クイックルート** をタッチするか、ルート全景で **ルート案内** をタッチしてルート案内を開始します。

一般道路案内画面



- ① ルート線
走行すべき道路を強調表示します。
- ② 案内地点情報
次の案内地点の情報（案内地点までの距離、進路変更の方向、交差点名、レーン情報）を表示します。
- ③ 前方交差点のレーン情報
前方交差点のレーン情報を表示します。走行レーンは、青色で表示します。
- ④ 目的地までの距離
目的地までのルートの走行距離を表示します。
- ⑤ 到着予想時刻
目的地に着く予想時刻を表示します。
※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なることがあります。
道路別の走行速度は、ルート探索設定で変更します。（→ P81）
- ⑥ 道路名/住所
走行している道路名と住所を交互表示します。
※名称が表示されない道路もあります。

案内中止

ルート案内を中止します。

リルート

リルートします。（→ P77）

別ルート

現在地からルート探索します。ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。（→ P70）

周辺検索

現在地または目的地周辺にある施設を検索します。

道路切替

自転車位置を別の道路に切り替えます。（→ P77）

交差点拡大図

一般道路を走行中は、案内地点付近になると2画面表示になります。左画面には通常地図、右画面には案内地点の拡大図が表示されます。



- ① 通常地図
通常地図を表示します。2画面表示時の地図の縮尺は、ルート案内設定で変更します。
(→ P82)
 - ② 案内地点の拡大図
案内地点を拡大して表示します。
 - ③ 残距離
案内地点までの残距離を表示します。
 - ④ 交差点名表示
案内地点の交差点名を表示します。
 - ⑤ 車線情報
案内地点のレーン情報を表示します。進入レーンは、青色で表示します。
- ⑥ 交差点拡大図をタッチして非表示にします。非表示にすると **交差点アイコン** が表示されます。タッチして再表示します。
※交差点拡大図を非表示にするとハイウェイガイド、イラストガイドも非表示になります。

ハイウェイガイド

高速道路を走行中は、2画面表示になります。左画面には通常地図、右画面にはハイウェイガイドが表示されます。



- ① 通常地図
通常地図を表示します。2画面表示時の地図の縮尺は、ルート案内設定で変更します。(→ P82)
 - ② 高速道路施設情報
3つ先までのIC、JCT、SA/PAなどの高速道路の施設情報を表示します。それぞれの施設までの距離、到着予想時刻、進路変更方向を表示します。SA/PAでは駐車場の情報やレストランなどの情報を表示します。施設情報をタッチしてさらに詳しい施設詳細を表示します。
※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なることがあります。
道路別の走行速度は、ルート探索設定で変更します。(→ P81)
 - ③ 道路名/住所
走行中の高速道路名と住所を交互に表示します。
※名称が表示されない道路もあります。
 - ④ 最後の施設情報
最後の施設情報を表示します。
 - ⑤ 一区間先の施設情報
一区間先の施設情報を表示します。
 - ⑥ 一区間前の施設情報
一区間前の施設情報を表示します。
 - ⑦ 現在地からの施設情報
現在地からの施設情報を表示します。
- ⑧ ハイウェイガイドをタッチして非表示にします。非表示になると「ハイウェイガイドアイコン」が表示されます。タッチして再表示します。
※ハイウェイガイドを非表示にすると交差点拡大図、イラストガイドも非表示になります。

イラストガイド

一部の交差点や高速道路の分岐などでは、イラストガイドで案内します。

高速分岐イラストガイド



高速出口後分岐イラストガイド



高速出口後方面イラストガイド



交差点イラストガイド



方面看板イラストガイド



都市高速出入口イラストガイド



イラストガイドをタッチして非表示にします。非表示にすると **イラストガイドアイコン** が表示されます。タッチして再表示します。

※イラストガイドを非表示にすると交差点拡大図、ハイウェイガイドも非表示になります。

リルートについて

- ・ リルートは、案内中にルートから外れたときに、現在地から目的地までルート探索し直す機能です。
- ・ リルートを自動で行うか、手動で行うかは、ルート案内設定で変更します。(→ P82)
- ・ 自動に設定したときは、ルートから外れたときは、自動的にリルートします。
- ・ 手動に設定したときは、ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートするときは、**リルート** をタッチします。
- ・ 手動に設定したときは、ルートを外れると案内をしなくなりますが、ルートに戻ると案内を再開します。

道路切り替えについて

- ・ 道路切り替えは、隣接して平行した道路を走行中に、自車位置が走行していない道路上になってしまったときに、自車位置を別の道路に切り替える機能です。
- ・ **道路切替** をタッチして道路を切り替えます。
※切り替え可能な道路がないとタッチできません。

トンネルアシストについて

- ・ トンネルアシストは、トンネル内で GPS 電波が受信ができないときに、以前の GPS 情報から走行速度を予測して、トンネルの出口まで仮想走行を行い、ルート案内を続ける機能です。
- ・ GPS 電波を受信したときは、通常のルート案内に戻ります。
- ・ 実際の走行とは誤差が生じることがあります。
- ・ ルート案内中のみ動作します。フリー走行中は、動作しません。

ナビ設定

ナビ設定メニュー

メニュー → ナビ設定 をタッチして地図の表示内容やルート計算方法など、ナビの各種設定を行います。



ナビシステム設定

文字入力キーボードや地図スクロール方法などナビシステム全般に関わる内容について設定します。(→ P79)

地図表示設定

地図色や文字サイズなど地図の表示内容を設定します。(→ P79)

施設アイコン表示設定

地図に表示するコンビニやファーストフードなどの施設アイコンを設定します。(→ P80)

ルート探索設定

ルート計算方法やリルートなどルート探索について設定します。(→ P81)

ルート案内設定

案内音声や合流案内などルート案内について設定します。(→ P82)

安全運転ガイド設定

事故多発地点案内や踏切案内など安全運転ガイドについて設定します。(→ P82)

開通前道路情報

出荷時に未対応の道路を有効にします。(→ P83)

VICS 設定

VICS について設定します。(→ P93)

設定初期化

すべてのナビ設定を既定値にします。

ナビシステム設定

メニュー → ナビ設定 → ナビシステム設定 をタッチして、文字入力キーボードや地図スクロール方法などナビシステム全般に関わる内容について設定します。

設定項目	内容	
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかを設定します。	
文字入力キーボード	各種入力画面で利用する入力キーボードを設定します。	
スクロールタイプ	地図のスクロール方法を設定します。	
	ドラッグ・フリック	地図をドラッグして表示したい箇所に移動します。 また、フリックで地図を表示したい方向に素早く移動します。
	タップ・ホールド	地図をタッチしてタッチした地点を画面の中心に移動します。 また、スクロールしたい方向の地図を長押しして連続で地図をスクロールします。

地図表示設定

メニュー → ナビ設定 → 地図表示設定 をタッチして、地図色や文字サイズなど地図の表示内容を設定します。

設定項目	内容	
地図色	地図の背景色を設定します。	
	昼モード	明るくて、見やすい色で表示します。
	夜モード	暗闇で眩しすぎず、見やすい色で表示します。
	オート	現在時刻から自動的に地図色を切り替えます。 4月～9月は 18:00～翌 6:00、10月～3月は 17:00～翌 7:00 が夜モードになります。
地図の文字サイズ	地図の文字サイズを設定します。	
地図方向	地図方向を設定します。	
	ヘディングアップ (進行方向)	常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。
	ノースアップ (北上固定)	常に北の方向が画面の上になるように地図を表示します。
フロントワイド	地図の自転車位置アイコンの表示位置を設定します。	
	する	前方を広く表示します。
	しない	画面の中央に表示します。
3D アイコン表示	日本全国の名所の実際の形に近い 3D アイコンの表示有無を設定します。 ※ 100m 以下のスケールで表示します。	
走行軌跡表示	走行軌跡の表示有無を設定します。	
目的地方向線	目的地を指す方向線の表示有無を設定します。	

施設アイコン表示設定

地図に表示するコンビニやファーストフードなどの施設アイコンを設定します。

1 **メニュー** → **ナビ設定** → **施設アイコン表示設定** をタッチします。

2 ジャンルリスト（大分類）から該当のジャンルをタッチします。再度タッチすると、選択が解除されます。

全選択、**全解除** をタッチしてすべてのジャンルを選択／解除します。



3 一部のジャンルでは、ジャンルリスト（小分類）が表示されます。

ジャンル（大分類）と同様に、ジャンル（小分類）を選択します。



ルート探索設定

メニュー → ナビ設定 → ルート探索設定 をタッチして、ルート計算方法やリルートなどルート探索について設定します。

設定項目	内容	
リルート	ルート案内中にルートを外れたときのリルート方法を設定します。	
	オート	ルートから外れたときは、自動的にリルートします。
	手動	ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートするときは、 リルート をタッチします。
ルート計算	ルート探索時のルート計算方法 (→ P72) を設定します。	
フェリー利用	ルート探索時にフェリー利用するかを設定します。	
スマート IC と ETC 専用 IC 利用	ルート探索時にスマート IC、および ETC 専用 IC を利用するかを設定します。	
時間規制考慮	ルート探索時に時間規制を考慮するかを設定します。 ※時間規制はルート探索開始時刻を基準に考慮します。 ※祝祭日指定の時間規制は考慮しません。 ※目的地によっては、時間規制を考慮した結果、ルート探索できないことがあります。	
渋滞情報考慮	ルート探索時に渋滞情報を考慮するかを設定します。	
到着予想時刻計算速度 (高速道)	到着予想時刻の計算に利用する高速道の走行速度を設定します。	
到着予想時刻計算速度 (一般道)	到着予想時刻の計算に利用する一般道の走行速度を設定します。	

ルート案内設定

メニュー → ナビ設定 → ルート案内設定 をタッチして、案内音声や合流案内などルート案内について設定します。

設定項目	内容	
トンネルアシスト	トンネルアシスト (→ P77) を行うかどうかを設定します。	
ルート案内音	ルート案内方法を設定します。	
	音声	案内地点を音声でお知らせします。
	警告音	案内地点を警告音でお知らせします。
	しない	音声・警告音による案内をせず、ガイド表示のみで案内します。
2画面時縮尺	2画面表示のときに、左画面に表示される地図スケール(縮尺)を設定します。	
	50m スケール	2画面表示時に、左画面の地図スケールを設定したスケールで表示します。
	100m スケール	
	200m スケール	
固定しない	2画面表示時に、左画面の地図スケールを全画面表示時の地図スケールのまま表示します。	
右左折専用レーン案内	右左折専用レーンをガイド表示と音声で案内するかを設定します。	
合流案内	合流道路をガイド表示と音声で案内するかを設定します。	

安全運転ガイド設定

メニュー → ナビ設定 → 安全運転ガイド設定 をタッチして、事故多発地点案内や踏切案内など安全運転ガイドについて設定します。

設定項目	内容
事故多発地点案内	交通事故が多発している交差点や道路をガイド表示と音声で案内するかを設定します。
踏切案内	踏切をガイド表示と音声で案内するかを設定します。
一時停止案内	一時停止をガイド表示と音声で案内するかを設定します。
休憩案内	休憩を2時間ごとにガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。
ライト点灯案内	ライト点灯をガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。 ※ 4月～9月は18時、10月～3月は17時に案内します。
急発進注意	急発進を検知したときに、ガイド表示と音声でお知らせするかを設定します。 ※約5秒の間に車速変化が約40km/h以上のときに、急発進と判断します。
トンネル案内	トンネルをガイド表示と音声で案内するかを設定します。

開通前道路情報

本製品は、一部の開通前道路が製品出荷時には未対応の状態です。実際の道路の開通後、該当道路を有効にさせていただくことにより、ルート探索、案内が可能になります。

※開通前に取得できた情報のみ反映しておりますので、道路形状、規制、接続する一般道の道路状況など、現地の状況と異なることがあり、実際とは異なったルート案内をすることがあります。

※道路形状（地図表示）および道路ネットワークデータ（ルート探索・案内用データ）のみ反映されており、誘導系画像、検索データ、その他注記等が反映されていないことがあります。

※道路形状（地図表示）は 200m 以下のスケールのみ（一部の道路では 200m スケールのみ）に反映されており、300m 以上のスケールでは表示されません。

1 メニュー → ナビ設定 → 開通前道路情報 をタッチします。

2 有効にしたい道路をタッチします。該当道路が有効になります。再度タッチすると、該当道路が無効になります。

全選択、全解除 をタッチしてすべての道路を有効/無効にします。



登録情報

自宅

自宅を登録します。登録した自宅は、地図にアイコンで表示されます。

地図から登録

- 1 自宅まで地図を移動します。
- 2 **自宅登録** をタッチします。
- 3 登録完了メッセージが表示されます。
- 4 地図に自宅がアイコンで表示されます。



地点を検索して登録

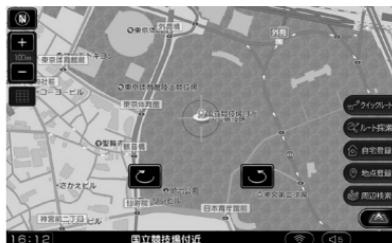
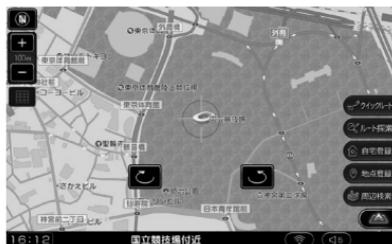
- 1 地点を検索します。(→ P54)
- 2 **自宅登録** をタッチします。
- 3 登録完了メッセージが表示されます。
- 4 地図に自宅がアイコンで表示されます。

登録地点

よく利用する地点を登録します。登録した地点は、地図にアイコンで表示されます。
※地点は最大 500 件まで登録できます。

地図から登録

- 1 登録したい地点まで地図を移動します。
- 2 **地点登録** をタッチします。
- 3 登録完了メッセージが表示されます。
- 4 地図に登録地点がアイコンで表示されます。



地点を検索して登録

- 1 地点を検索します。(→ P54)
- 2 **地点登録** をタッチします。
- 3 登録完了メッセージが表示されます。
- 4 地図に登録地点がアイコンで表示されます。

登録地点名変更

1 **メニュー** → **登録情報管理** → **登録地点管理** をタッチします。

2 登録地点リストが表示されます。
リストから地点名を変更したい登録地点の **名称変更アイコン** をタッチします。



3 登録地点名を入力します。
入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)
入力完了後、**決定** をタッチします。



 システム標準キーボードでは、漢字での登録地点名の入力が可能です。

登録地点削除

1 **メニュー** → **登録情報管理** → **登録地点管理** をタッチします。

2 登録地点リストが表示されます。
リストから削除したい登録地点の **削除アイコン** をタッチします。
複数の登録地点を削除したいときは、該当の登録地点をタッチして選択し、**削除** をタッチします。
全ての登録地点を削除したいときは、**全選択** をタッチして、全てを選択し、**削除** をタッチします。

ソート

登録地点を並べ替えます。



登録ルート

ルート登録

よく利用するルートを登録します。

※ルートは最大 10 件まで登録できます。

- 1 ルート全景で **ルート保存** をタッチします。

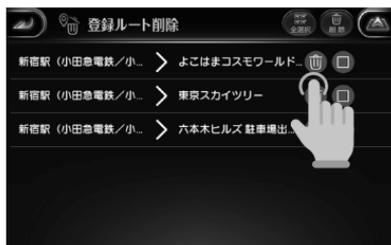


登録ルートからルート設定

- 1 **メニュー** → **登録ルート** をタッチします。
- 2 登録ルートリストが表示されます。リストから該当ルートをタッチします。
- 3 登録ルートの内容がルート編集画面にセットされます。

登録ルート削除

- 1 **メニュー** → **登録情報管理** → **登録ルート削除** をタッチします。
- 2 登録ルートリストが表示されます。リストから削除したい登録ルートの **削除アイコン** をタッチします。複数の登録ルートを削除したいときは、該当の登録ルートをタッチして選択し、**削除** をタッチします。全ての登録ルートを削除したいときは、**全選択** をタッチして、全てを選択し、**削除** をタッチします。



目的地履歴を削除する

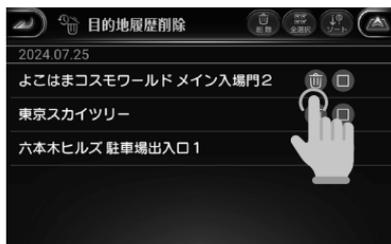
1 メニュー → 登録情報管理 → 目的地履歴削除 をタッチします。

2 目的地履歴リストが表示されます。
リストから削除したい目的地履歴の削除アイコンをタッチします。
複数の目的地履歴を削除したいときは、該当の目的地履歴をタッチして選択し、削除をタッチします。

全ての目的地履歴を削除したいときは、全選択をタッチして、全てを選択し、削除をタッチします。

ソート

目的地履歴を並べ替えます。



検索履歴を削除する

1 メニュー → 登録情報管理 → 検索履歴削除 をタッチします。

2 検索履歴リストが表示されます。
リストから削除したい検索履歴の削除アイコンをタッチします。
複数の検索履歴を削除したいときは、該当の検索履歴をタッチして選択し、削除をタッチします。

全ての検索履歴を削除したいときは、全選択をタッチして、全てを選択し、削除をタッチします。

ソート

検索履歴を並べ替えます。



走行軌跡を削除する

1 メニュー → 登録情報管理 → 走行軌跡削除 をタッチします。

その他の機能

GPS 情報

- 1 メニュー → GPS 情報 をタッチします。
- 2 GPS 情報画面が表示されます。



ナビアプリ

ナビシステム情報

- 1 メニュー → ナビシステム情報 をタッチします。
- 2 ナビシステム情報が表示されます。
※本マニュアルのシステム情報は、実際とは異なります。



ナビデータを初期化する

すべてのナビ登録情報を削除し、ナビ設定を既定値にします。

- 1 メニュー → ナビシステム情報 をタッチします。
- 2 システム情報が表示されます。
ナビデータ初期化 をタッチします。



VICS(オプション)

VICS を利用するには、オプションの「VICS チケット」が必要です。

また、VICS 情報の受信にはスマートフォンの Wi-Fi デザリング機能、もしくはモバイル Wi-Fi ルーターを利用してインターネットに接続する必要があります。

VICS について

- VICS とは、渋滞・事故などの影響による規制などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。
- スマートフォンの Wi-Fi デザリング機能、もしくはモバイル Wi-Fi ルーターを利用してインターネットに接続し、VICS 情報を受信します。
- VICS 表示は、レベル 3(地図) 表示に対応しています。
- 本機で使用する道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されています。また、データの作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。
- 「VICS」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 通信を利用するため、通信環境によっては、サービスをご利用いただけないことがあります。
- 受信状況によっては、VICS 情報が本機に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 提供される VICS 情報が実際の交通規制と異なるときは、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される VICS 情報は最新ではないことがあります。
- VICS データを受信するとき、1 回の更新で 10 ~ 50KB 程度のデータ通信が発生します。
- VICS 情報を反映したルート探索を行うときは、約 1MB のデータ通信が発生します。

VICS 情報を表示する

1 スマートフォンの Wi-Fi デザリング機能、もしくはモバイル Wi-Fi ルーターを利用してインターネットに接続します。(→ P31)

2 シリアル番号を登録します。(→ P91)

登録は一度行えば有効期限が切れるまでは再度行う必要はありません。

登録したシリアル番号の有効期限が切れたときは、オプションの「VICS チケット」を利用してシリアル番号を更新します。(→ P91)

3 地図の **VICS アイコン** をタッチして VICS 情報を受信します。ICS を受信した時刻、VICS 更新方法を表示します。VICS 更新方法を変更して、VICS 情報を自動で受信することもできます。(→ P93)



シリアル番号を登録する

VICS を利用するためには、シリアル番号を登録します。

シリアル番号を登録するにはインターネットに接続する必要があります。(→ P31)

- 1 「VICS チケット」に記載されている 16 桁のシリアル番号を確認します。
- 2 **メニュー** → **ナビ設定** → **VICS 設定** → **シリアル番号** をタッチします。

- 3 シリアル番号を入力します。
入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)
入力完了後、**登録** をタッチします。



シリアル番号を確認・更新する

登録されたシリアル番号、有効期限を確認します。

また、有効期限が切れたシリアル番号を更新します。有効期限を延長するには、オプションの「VICS チケット」が必要です。

シリアル番号を更新するにはインターネットに接続する必要があります。(→ P31)

- 1 **メニュー** → **ナビ設定** → **VICS 設定** → **シリアル番号** をタッチします。

- 2 登録されたシリアル番号が表示されます。
シリアル番号を更新するときは、**更新** をタッチします。



- 3 シリアル番号を入力します。
入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ P43)
入力完了後、**登録** をタッチします。

VICS 情報の表示内容について



① VICS アイコン

タッチして最新の VICS 情報を受信します。VICS を受信した時刻、VICS 更新方法を表示します。VICS 更新方法を変更して、VICS 情報を自動で受信することもできます。(→ P93)

② 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑 青色：順調 黄色：規制

※方向を矢印で表示します。

③ VICS 情報アイコン

交通規制、交通障害、駐車場、SA/PA 情報をアイコンで表示します。アイコンをタッチして詳細情報を表示します。

※詳細情報がない VICS 情報アイコンもあります。

	事故		チェーン規制
	故障車		車線規制
	路上障害		対面通行
	工事		速度規制
	作業		片側交互通行
	凍結		入口閉鎖
	通行止め閉鎖		入口制限
	進入禁止		大型通行止め
	徐行		規制

	SA/PA	青色：空
	SA/PA	橙色：混雑
	SA/PA	赤色：満
	SA/PA	赤色(x)：閉鎖
	SA/PA	黒色：不明

	駐車場	青色：空
	駐車場	橙色：混雑
	駐車場	赤色：満
	駐車場	赤色(x)：閉鎖
	駐車場	黒色：不明

VICS 情報を考慮してルート探索する

VICS 情報を考慮してルート探索します。

※ VICS 情報を考慮したルート探索を行うときは、約 1MB のデータ通信が発生します。

1 ルート探索設定で渋滞情報考慮を「する」に設定してください。(→ P81)

2 ルート探索を開始します。(→ P66)

3 ルート探索完了後、ルート全景が表示されます。(→ P70)

ルート区間色で、渋滞状況を表示します。(赤色：渋滞、橙色：混雑、青色：渋滞なし)

ルート案内 をタッチします。



ナビアプリ

4 案内が開始されます。

VICS 設定

メニュー → ナビ設定 → VICS 設定 をタッチして、VICS について各種項目を設定します。

設定項目	内容
シリアル番号	シリアル番号を登録します。
VICS 更新方法	VICS の更新方法を設定します。
一般道渋滞／混雑情報	一般道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 500m 以下のスケールで表示します。
一般道渋滞なし情報	一般道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 地図角度なしでは 300m 以下、地図角度ありでは 200m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞／混雑情報	高速道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 地図角度なしでは 1km 以下、地図角度ありでは 500m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞なし情報	高速道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 地図角度なしでは 300m 以下、地図角度ありでは 200m 以下のスケールで表示します。
駐車場、SA/PA 情報	駐車場、SA/PA 情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 300m 以下のスケールで表示します。
道路規制情報	道路規制情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 地図角度なしでは 1km 以下、地図角度ありでは 500m 以下のスケールで表示します。

テレビアプリ

地上デジタル放送について

- 本機は、地上デジタル放送(12セグ)およびワンセグ放送の受信に対応しています。
- 本機は、地上デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送には対応しておりません。
- 本機は、双方向データサービスには対応しておりません。
- ワンセグ放送は、地上デジタル放送のサービスのひとつで、携帯電話型受信機などの移動体でも安定して受信ができるように設計されたサービスです。地上デジタル放送波の一部を使って送っています。地上デジタル放送(12セグ)に比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは地上デジタル放送(12セグ)よりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
- 地上デジタル放送では受信状況が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できないことがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなることがあります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れることがあります。
- 電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、パソコンや携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりすることがあります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わることがあります。
- 本機は、ARIB(電波産業会)規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があったときは、商品仕様を変更することがあります。

miniB-CAS カードについて

- ・ miniB-CAS カードは地上デジタル放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。
- ・ 本機に付属の「miniB-CAS カード」には1枚ごとに異なる番号(B-CAS カード番号)が付与されています。
- ・ B-CAS カード番号は大切な番号です。「(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CAS カスタマーセンター」への問い合わせのときにも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。
- ・ 地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために miniB-CAS カードが必要です。
- ・ miniB-CAS カード取り扱い上の留意点
 - > miniB-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - > miniB-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - > miniB-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - > miniB-CAS カードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
 - > miniB-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- ・ miniB-CAS カードはカード挿入口に正しく挿入してください。(→P96)
- ・ 使用中に miniB-CAS カードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなることがあります。
- ・ miniB-CAS カードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できません。
- ・ miniB-CAS カードの受信契約については、miniB-CAS カードの台紙に記載されている事項やB-CAS カード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- ・ miniB-CAS カードを使用して、BS デジタル放送や110度CS デジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできません。
- ・ miniB-CAS カードを破損・紛失などされたときは、お客様より「(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」へお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- ・ 本機の修理を依頼されるときは、本機より miniB-CAS カードを抜いてお客様が保管してください。
- ・ miniB-CAS カードについてご不明な点は、以下へお問い合わせください。お問い合わせのときには、カード裏面に記載されたB-CAS カード番号(20桁の数字)をオペレーターにお知らせください。

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ B-CAS カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250
IP 電話：045-680-2868
受付時間：10:00～20:00(年中無休)

miniB-CAS カードを取り付ける／取り外す

地上デジタル放送(12セグ)を受信するには、付属の「miniB-CAS カード」を本体に挿入してください。

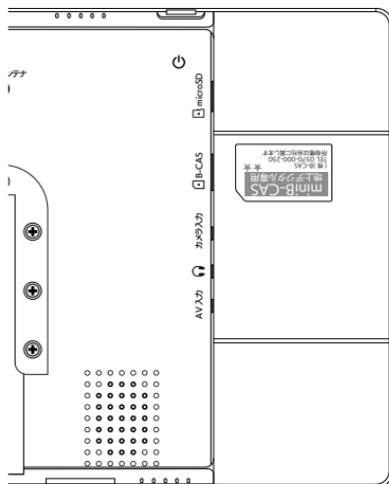
miniB-CAS カードが挿入されていないときは、ワンセグ放送で受信します。

miniB-CAS カードを取り付ける：

- ・ 電源を OFF にする。
- ・ イラストを参考にして、miniB-CAS カードを力強く押し込みます。

miniB-CAS カードを取り外す：

- ・ 電源を OFF にする。
- ・ miniB-CAS カードを奥に押します。
- ・ miniB-CAS カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。



テレビアプリを起動する

ナビモードメニューで「テレビ」をタッチします。



ナビモードで起動したナビアプリからテレビアプリを起動することもできます。(→P52)

テレビ画面



- ① テレビ映像
タッチして、テレビ映像を全画面で表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ② チャンネルリスト
現在受信できるチャンネルを表示します。
- ③ miniB-CAS カード挿入状態
miniB-CAS カードが挿入されていないときは、「×」で表示します。
- ④ 受信感度
受信感度を表示します。アンテナ部分が白色のときは、地上デジタル放送受信、緑色のときは、ワンセグ放送受信です。
- ⑤ 音量
音量を表示します。ミュート（消音）しているときは、「×」になります。
- ⑥ ナビ
ナビを起動して、2画面分割表示します。
- ⑦ ×
テレビアプリを終了します。
- ⑧ テレビ映像全画面表示アイコン
タッチして、テレビ映像を全画面で表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
- ⑨ 受信モードアイコン
受信モードを切り替えます。Auto モードでは、電波状況がよいときは、地上デジタル放送で、悪いときは、ワンセグで受信するように自動で切り替えます。
- ⑩ チャンネルスキャン
受信可能なチャンネルをサーチしてチャンネルリストに表示します。
- ⑪ 中継局 ON/OFF
中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。
※系列局への切り替えには対応していません。
- ⑫ 字幕 ON/OFF
字幕の ON/OFF を切り替えます。
- ⑬ 音量アイコン
音量を調整します。
- ⑭ ミュートアイコン
音量をミュート（消音）します。
- ⑮ 番組表アイコン
番組表を表示します。
※テレビを起動した直後など番組表が表示されないことがあります。
- ⑯ テレビアプリ設定アイコン
テレビアプリ設定画面を表示します。
(→ P99)

テレビ画面 (2画面分割表示)



- ① テレビ映像
ダブルタップして、テレビアプリを全画面表示します。
- ② miniB-CAS カード挿入状態
miniB-CAS カードが挿入されていないときは、「×」で表示します。
- ③ 受信感度
受信感度を表示します。アンテナ部分が白色のときは、地上デジタル放送受信、緑色のときは、ワンセグ放送受信です。
- ④ 音量
音量を表示します。ミュート (消音) しているときは、「×」になります。
- ⑤ ×
テレビを終了します。
- ⑥ チャンネル変更アイコン
チャンネルを変更します。
- ⑦ 受信モードアイコン
受信モードを切り替えます。受信モードを切り替えます。Auto モードでは、電波状況がよいときは、地上デジタル放送で、悪いときは、ワンセグで受信するように自動で切り替えます。
- ⑧ 音量アイコン
音量を調整します。
- ⑨ ミュートアイコン
音量をミュート (消音) します。

テレビアプリ設定

1 テレビ設定アイコン をタッチして各種項目を設定します。



設定項目	内容	
中継局サーチ	中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。 中継局サーチを ON にすると、移動などで受信状態が悪くなったときは、受信状態のよい中継局に自動で切り替えます。 ※系列局への切り替えには対応していません。	
受信モード	受信モードを切り替えます。	
	自動切替え	電波状況がよいときは、地上デジタル放送で、悪いときは、ワンセグ放送で受信するように自動で切り替えます。
	地デジ固定	地上デジタル放送で受信します。
	ワンセグ固定	ワンセグ放送で受信します。
音声設定	主 + 副音声	音声を主音声と副音声にします。
	主音声	音声を主音声にします。
	副音声	音声を副音声にします。
字幕設定	字幕の表示有無を設定します。	
代表チャンネル	チャンネルリストに代表チャンネルのみを表示するかを設定します。	
時刻表示	全画面表示したときに、時刻を表示するかを設定します。	
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかを設定します。	

動画プレーヤーアプリ

動画プレーヤーアプリを起動する

1 ナビモードメニューで **動画** をタッチします。



 ナビモードで起動したナビアプリから動画プレーヤーアプリを起動することもできます。
(→ P52)

動画プレーヤーアプリの音量を調整する

1 **音量アイコン** をタッチして、音量調整ポップアップを表示します。

- ① **ミュートアイコン**
ナビ音声をミュートします。
- ② **音量小アイコン**
ナビ音声を 1 段階小さくします。
- ③ **音量大アイコン**
ナビ音声を 1 段階大きくします。



動画リスト

- ① 時刻
現在時刻を表示します。
- ② **音量アイコン**
現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。
タッチして音量調整します。(→ P100)
- ③ 動画リスト
指定されたメディア内の動画を表示します。該当項目をタッチすると、動画が再生されます。
- ④ **全画面アイコン**
動画プレーヤーアプリを全画面表示します。

ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

動画プレーヤーアプリを終了します。

メディア

動画が保存されているメディアを指定します。

スキャン

指定されたメディア内の動画をスキャンして動画リストを更新します。

動画

動画をサムネイル形式ですべて表示します。

フォルダ

動画をフォルダごとに表示します。



動画リスト (2画面分割表示)



動画プレーヤー

① 戻るアイコン

動画リストに戻ります。

② 時刻

現在時刻を表示します。

③ 音量アイコン

現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。

タッチして音量調整します。(→ P100)

④ 動画映像

タッチして、テレビ映像を全画面で表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。

⑤ 再生/一時停止アイコン

動画を再生/一時停止します。

⑥ 早送りアイコン

動画を早送ります。

⑦ 巻き戻しアイコン

動画を巻き戻します。

⑧ 前へアイコン

前の動画を再生します。

⑨ 次へアイコン

次の動画を再生します。

⑩ シークバー

シークバーをスライドさせて動画の早送り/早戻しを行います。

⑪ 全画面アイコン

動画プレーヤーアプリを全画面表示します。

ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

動画プレーヤーアプリを終了します。

動画プレーヤー



動画プレーヤー (2画面分割表示)



音楽プレーヤーアプリ

音楽プレーヤーアプリを起動する

1 ナビモードメニューで **音楽** をタッチします。



 ナビモードで起動したナビアプリから音楽プレーヤーアプリを起動することもできます。
(→ P52)

音楽プレーヤーアプリの音量を調整する

1 **音量アイコン** をタッチして、音量調整ポップアップを表示します。

- ① **ミュートアイコン**
ナビ音声をミュートします。
- ② **音量小アイコン**
ナビ音声を 1 段階小さくします。
- ③ **音量大アイコン**
ナビ音声を 1 段階大きくします。



楽曲リスト

- ① 時刻
現在時刻を表示します。
- ② **音量アイコン**
現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。
タッチして音量調整します。(→P103)
- ③ 曲リスト
指定されたメディア内の曲を表示します。該当項目をタッチすると、曲が再生されます。
- ④ **全画面アイコン**
音楽プレーヤーアプリを全画面表示します。

ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

音楽プレーヤーアプリを終了します。

メディア

楽曲が保存されているメディアを指定します。

スキャン

指定されたメディア内の楽曲をスキャンして楽曲リストを更新します。

曲

楽曲をリスト形式ですべて表示します。

フォルダ

楽曲をフォルダごとに表示します。

アルバム

楽曲をアルバムごとに表示します。

アーティスト

楽曲をアーティストごとに表示します。

楽曲リスト



楽曲リスト (2画面分割表示)



音楽プレーヤー

- ① 時刻
現在時刻を表示します。
- ② **音量アイコン**
現在の音量を表示します。ミュート時は「OFF」が表示されます。
タッチして音量調整します。(→P103)
- ③ **再生/一時停止アイコン**
楽曲を再生/一時停止します。
- ④ **早送りアイコン**
楽曲を早送りします。
- ⑤ **巻き戻しアイコン**
楽曲を巻き戻します。
- ⑥ **前へアイコン**
前の楽曲を再生します。
- ⑦ **次へアイコン**
次の楽曲を再生します。
- ⑧ **シークバー**
シークバーをスライドさせて楽曲の早送り/早戻しを行います。
- ⑨ **リピート再生アイコン**
現在の楽曲をリピート再生します。
- ⑩ **全曲リピート再生アイコン**
音楽リストの楽曲をリピート再生します。
- ⑪ **ランダム再生アイコン**
音楽リストの楽曲をランダム再生します。
- ⑫ **音楽プレーヤー切り替えアイコン**
タッチして、音楽ミニプレーヤーと音楽フルプレーヤーを切り替えます。
- ⑬ **全画面アイコン**

音楽プレーヤーアプリを全画面表示します。

ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

音楽プレーヤーアプリを終了します。



音楽プレーヤー (2画面分割表示)



音楽ミニプレーヤー



音楽ミニプレーヤー (2画面分割表示)



オプション機能

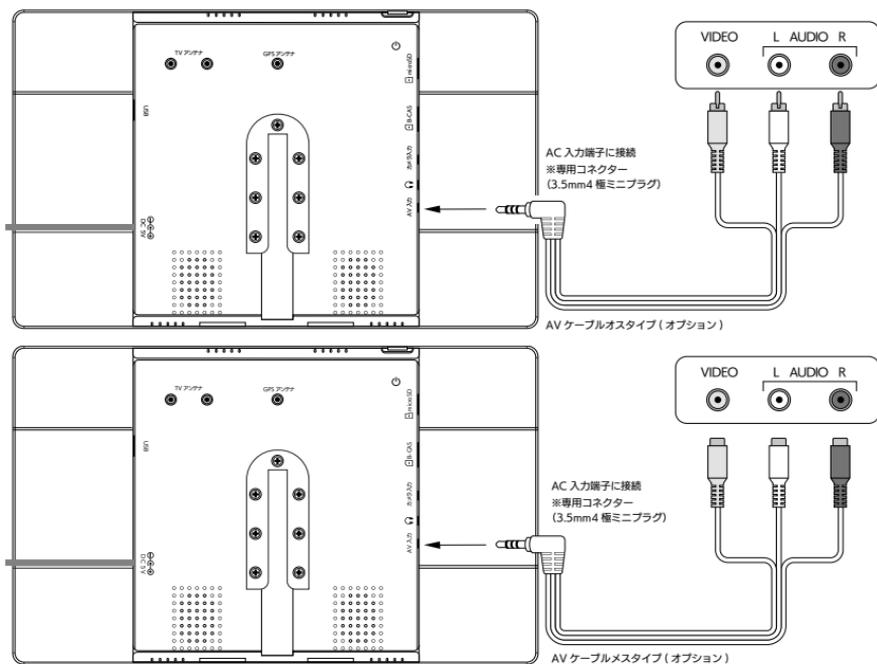
AV 入力

DVD プレーヤーなどの AV 機器と接続して、映像を表示します。

AV 機器との接続について

オプションの「AV ケーブル」を本体と外部機器に接続します。

※ AV ケーブルは RoadQuest 純正オプション品をご利用ください。オプションの「AV ケーブル」は、RCA 端子オスタイプと RCA 端子メスタイプの 2 種類があります。



AV 機器の映像を表示する

- 1 ナビモードメニューで **AV 入力** をタッチします。



- ナビモードで起動したナビアプリから AV 入力アプリを起動することもできます。
(→ P52)

2 AV 機器からの映像が表示されます。

- AV 機器からの映像
全画面表示時は、タッチして、AV 機器からの映像を全画面で表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
2画面分割表示時は、ダブルタップして、AV 入力アプリを全画面表示します。
- 音量
音量を表示します。ミュート（消音）しているときは、「×」になります。

ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

AV 入力アプリを終了します。

再生/一時停止アイコン

再生/一時停止します。

停止アイコン

再生を停止します。

音量アイコン

音量を調整します。

ミュートアイコン

音量をミュート（消音）します。



バックカメラ

「純正バックカメラ (RQ-OP1007)」、または RCA 出力がある市販の汎用バックカメラと接続して、映像を表示します。

純正バックカメラ (RQ-OP1007) との接続について

配線、接続方法は、「RoadQuest 純正バックカメラ (RQ-OP1007)」に同梱されているマニュアルをご確認ください。

「RoadQuest 純正バックカメラ (RQ-OP1007)」をご利用のときは、システム設定でバックカメラ種別を「RoadQuest 純正リアビュー対応」、または「RoadQuest 純正リアビュー非対応」に設定してください。(→ P109)

バックカメラ信号が入力されると自動的にバックカメラ映像が表示されます。

「RoadQuest 純正リアビュー対応」をご利用の場合は、ナビモードメニューで「リアビュー」をタッチして、リアビュー映像を表示できます。

汎用バックカメラとの接続について

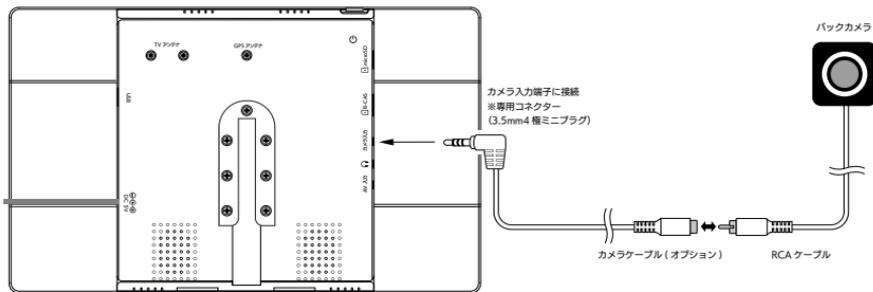
オプションの「カメラケーブル」を本体と汎用バックカメラに接続します。

バックカメラ信号が入力されると自動的にバックカメラ映像が表示されます。

市販の汎用バックカメラをご利用のときは、システム設定でバックカメラ種別を「汎用カメラ」に設定してください。(→ P109)

※カメラケーブルは RoadQuest 純正オプション品をご利用ください。

※バックカメラは、RCA 出力があるものをご利用ください。



バックカメラの種別を設定する

接続したバックカメラの種別を設定します。

1 ナビモードメニューで **システム設定** をタッチします。

2 接続したバックカメラの種別を選択します。

- ① **RoadQuest 純正リアビュー対応**
「RoadQuest 純正バックカメラ (RQ-OP1007)」を接続し、リアビュー対応の配線をしたときに、選択します
- ② **RoadQuest 純正リアビュー非対応**
「RoadQuest 純正バックカメラ (RQ-OP1007)」を接続し、リアビュー対応の配線をしていないときに、選択します。
- ③ **汎用バックカメラ**
市販の汎用バックカメラを接続したときに、選択します。



バックガイド線を調整する

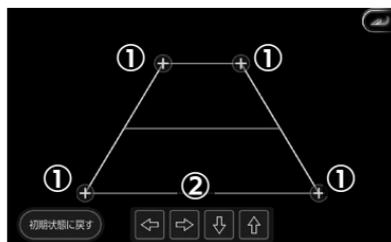
バックカメラ映像表示時のガイド線を調整します。

1 ナビモードメニューで **システム設定** をタッチします。

2 **調整する** をタッチします。

3 バックガイド線を調整します。

- ① 調整ポイント
調整したいポイントをタッチします。
 - ② 調整ポイント移動ボタン
選択した調整ポイントを移動します。
- 初期状態に戻す**
バックガイド線を初期状態に戻します。



レビュー映像を表示する

「RoadQuest 純正レビュー対応」をご利用の場合は、以下の手順でレビュー映像を表示します。

- 1 ナビモードメニューで **レビュー** をタッチします。



- 2 ナビモードで起動したナビアプリからレビューアプリを起動することもできます。(→ P52)

2 リビューからの映像が表示されます。

- ① リビューからの映像
全画面表示時は、タッチして、レビューからの映像を全画面で表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。2画面分割表示時は、ダブルタップして、レビューアプリを全画面表示します。

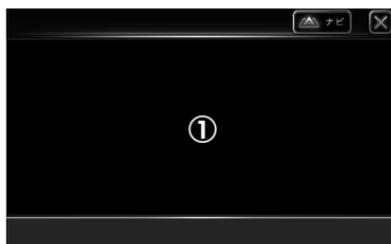
ナビ

ナビを起動して、2画面分割表示します。

×

レビューアプリを終了します。

レビュー画面



レビュー画面 (2画面分割表示)



その他

商標について

- ・「ゼンリン」および「ZENRIN」は、(株)ゼンリンの登録商標です。
- ・Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- ・Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・Google、Google Play、Android は、Google Inc. の登録商標です。
- ・iPhone は、Apple Inc. の登録商標です。
- ・iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- ・本書に明示されてないすべての権利は、その所有者に帰属します。

保証について

- ・保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「お買い上げ日」、「販売店」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年です。
- ・この製品は持込修理とさせていただきます。
- ・修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- ・保証期間中は、保証書の規定に従って、修理させていただきます。修理をご依頼するときは、保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・保証期間経過後は、修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料にて修理致します。
- ・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後3年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・点検や修理のときに、履歴や登録されたデータが消去されることがあります。
- ・修理期間中の代替機の貸し出しは行なっておりません。あらかじめご了承ください。

主な仕様

- ・ 本機に搭載している Wi-Fi / Bluetooth モジュールは、電波法に基づく技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けています。
- ・ 技適マークは、本体背面に貼付されているラベルに記載されています。

RQ-G8

CPU	Rockchip RK3566	
メインメモリ	4GB	
内部ストレージ	64GB	
本体	外形寸法	197mm(幅) × 122mm(高さ) × 20mm(奥行き)
	質量	約 418g
	使用温度範囲	0℃ ~ +60℃
	電源電圧	DC5V
	消費電流	1.2A(最大 2.0A)
	消費電力	6W(最大 10W)
液晶ディスプレイ	画面サイズ	8 インチ (172.22mm(幅) × 107.64mm(高さ))
	画素数	3,072,000 画素 (横 1280 × 縦 800 × 3)
	表示方式	透過型カラーフィルター方式
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	使用光源	LED バックライト
	タッチパネル	静電容量式タッチパネル
内蔵スピーカー	寸法・形状	φ 30mm 丸型
	定格出力	1.5W
	最大出力	2.0W
内蔵 GPS	Unicore 6226	
端子	電源入力端子	DC5V
	AV 入力端子	専用コネクター (3.5mm4 極ミニプラグ)
	バックカメラ入力端子	専用コネクター (3.5mm4 極ミニプラグ)
	ヘッドホン出力端子	3.5mm ステレオミニプラグ
	地上デジタル放送用アンテナ端子	専用コネクター (MCX)
	外部 GPS アンテナ端子	専用コネクター (MCX)
地上デジタルチューナー	受信可能放送	地上デジタル放送方式 (日本) フルセグ / ワンセグ対応
	受信チャンネル	UHF13CH ~ 52CH
	B-CAS カード	miniB-CAS カード
シガーソケットコード	使用電源	DC12V/DC24V マイナスアース
	ヒューズ	2A
	長さ	1.5m
	出力電圧	DC5V
	質量	約 56g
吸盤スタンド	吸盤寸法 (直径)	85mm
	質量	約 150g(吸盤スタンド単体)
SD カード	microSD, microSDHC	
USB	USB2.0	
Wi-Fi	802.11b/g/n/a/ac	
Bluetooth	バージョン	4.2
	対応プロファイル	A2DP(送信)

RQ-G10

CPU	Rockchip RK3566	
メインメモリ	4GB	
内部ストレージ	64GB	
本体	外形寸法	243mm(幅) × 150mm(高さ) × 20.5mm(奥行き)
	質量	約 558g
	使用温度範囲	0°C ~ +60°C
	電源電圧	DC5V
	消費電流	1.5A(最大 2.5A)
	消費電力	7.5W(最大 12.5W)
液晶ディスプレイ	画面サイズ	10.1 インチ (216.58mm(幅) × 135.36mm(高さ))
	画素数	3,072,000 画素 (横 1280 × 縦 800 × 3)
	表示方式	透過型カラーフィルター方式
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	使用光源	LED バックライト
	タッチパネル	静電容量式タッチパネル
内蔵スピーカー	寸法・形状	φ 30mm 丸型
	定格出力	1.5W
	最大出力	2.0W
内蔵 GPS	Unicore 6226	
端子	電源入力端子	DC5V
	AV 入力端子	専用コネクタ (3.5mm4 極ミニプラグ)
	バックカメラ入力端子	専用コネクタ (3.5mm4 極ミニプラグ)
	ヘッドホン出力端子	3.5mm ステレオミニプラグ
	地上デジタル放送用アンテナ端子	専用コネクタ (MCX)
	外部 GPS アンテナ端子	専用コネクタ (MCX)
地上デジタルチューナー	受信可能放送	地上デジタル放送方式 (日本) フルセグ/ワンセグ対応
	受信チャンネル	UHF13CH ~ 52CH
	B-CAS カード	miniB-CAS カード
シガーソケットコード	使用電源	DC12V/DC24V マイナスアース
	ヒューズ	2A
	長さ	1.5m
	出力電圧	DC5V
	質量	約 56g
吸盤スタンド	吸盤寸法 (直径)	85mm
	質量	約 150g(吸盤スタンド単体)
SD カード	microSD, microSDHC	
USB	USB2.0	
Wi-Fi	802.11b/g/n/a/ac	
Bluetooth	バージョン	4.2
	対応プロファイル	A2DP(送信)

保証書（持込修理）

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

品番	RQ-G8 / RQ-G10
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げの日から1年
販売店様ご記入欄	
販売店名	
住所	
電話番号	
お客様ご記入欄	
お名前	
ご住所	
電話番号	
メールアドレス	
シリアル番号	

- 保証期間内でも以下のときは、有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源や異常電圧による故障および損傷。
 - 特殊な条件下など、通常以外の使用による故障および損傷。
 - 故障の原因が本機以外にあるとき。
 - 本書のご提示がないとき。
 - 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がないとき（レシート添付は除く）。
 - 本体内蔵の電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明のときは、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。